



0007097-000

a 3 6 4 - 1 8

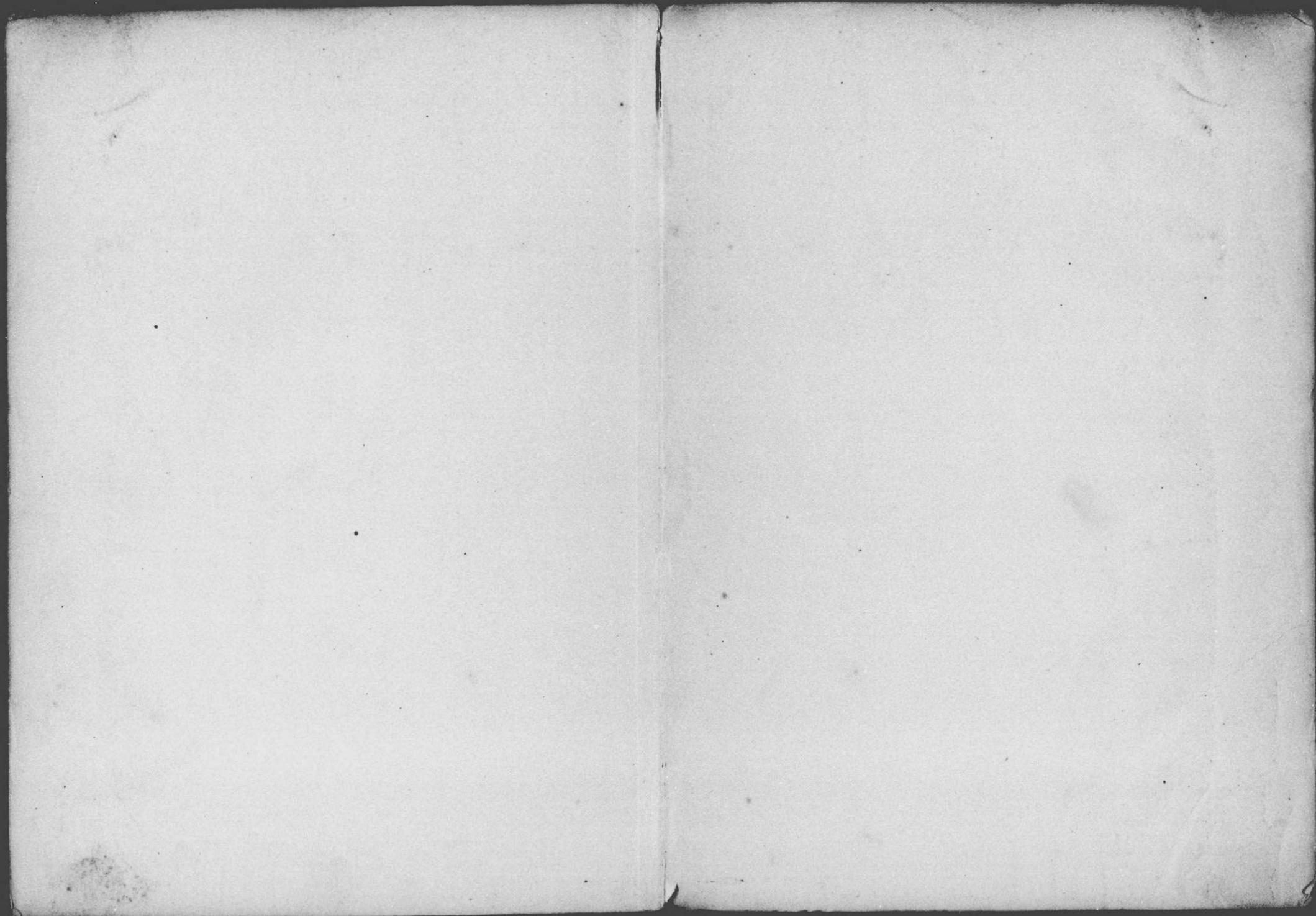
支那を繞り政治・經濟・並に宣
伝に活躍する上海猶太銘鑑

國際政經学会・編

國際政經学会

1 9 3 7

ABG



國際政經學會

東京市麹町區内幸町幸ビル
國際政經學會

上海猶太銘鑑

(附)

英國及び米國政府を
操縱する猶太色彩

支那を繞り政治、經濟
並に宣傳に活躍する

a364
18



13700

三 次

序

1. テーホルム C. H. Arnhold	1
2. アブラハム D. E. J. Abraham	1
3. アシケナジ D. Z. Ashkenazi	1
4. ジュンガード・アシケンナヅル Joushua Ashkenargi	1
5. アーサー・ソーファー Auther Sopher	10
6. テオドラ・ソーファー Theodora Sopher	11
7. 英國極東艦隊乗組水兵トランペルダー British Sailors Trumpelder Org.	11
8. ハリー・バルド Henry Barde	11
9. ブロダスキー E. Brodsky	11
10. ブロム M. S. Bloch	11
11. ネル N. G. Beale	11
12. バーンズ N. Burns	14
13. ロビート・ビッカーベ Robert Bicker	14

14. ເ ແ ນ ລ ລ ວ ລ ວ ລ ລ Mendel Brown 16
15. ແ ທ ລ ລ ວ ລ ລ M. Leon Coursin 11
16. ລ ລ ລ ລ ວ ລ ລ Miss Ray Cohen 11
17. ພ ລ ລ ລ ລ J. Cohen 11
18. ຮ ລ ລ ລ ລ Rae Cohen 11
19. ຢ ລ ລ N. E. B. Ezra 11
20. ພ ລ ລ ລ ລ Cecil Ezra 10
21. ຢ ລ ລ ລ ລ Denzil Ezra 11
22. ແ ທ ລ ລ ລ ລ R. D. Englander 11
23. ຖ ລ ລ ລ ລ ລ Stirling Fessenden 11
24. ຮ ລ ລ ລ ລ C. S. Franklin 11
25. ສ ທ ລ ລ ລ ລ Sophie Finkelstein 11
26. ຖ ລ ລ ລ ລ ລ Annie Finkelstein 11
27. ພ ລ ລ ລ ລ ລ Sir Hughes Montgomery Hugessen 11
28. ພ ລ ລ ລ ລ Musry Trading Co. 11
29. ພ ລ ລ ລ Patrick 10
-
30. ຖ ລ ລ ລ ລ Frederick Reiss 11
31. ພ ລ ລ ລ C. S. Gatzbey 11
32. ພ ລ ລ Col. R. W. Graham 11
33. ພ ລ ລ Hazan Goldenberg 11
34. ພ ລ ລ L. Greenberg 11
35. ພ ລ ລ Dr. Hertz 11
36. ພ ລ ລ Charles G. Hooper 11
37. ຮ ລ ລ Robert Haas 11
38. ພ ລ ລ M. V. Hermann 11
39. (72. ລ ລ ລ)
40. ພ ລ ລ Bernard Heller 10
41. ພ ລ ລ ລ ລ Jeuees S. M. C. Society 11
42. ພ ລ ລ J. R. Jones 11
43. ພ ລ ລ S. M. Joseph 11
44. ພ ລ ລ ລ Elly Kadoorie 11
45. ຮ ລ ລ ລ Lawrence Kadoorie 11

46.	ホーリス・カドリー	Horace Kadoorie	四〇
47.	カトウハム	G. S. Kaufman	四〇
48.	ヤヒロイ・レフヤー	Shalom Levy	一九
49.	アーラキバ・アベナバ	Alex Lyons	一九
50.	ラウトナー	L. H. Lowford	一九
51.	アダム	R. V. Meyer	一九
52.	ミラー	H. W. Miller	一九
53.	ニシム	Edward Nissim	一九
54.	ニール・ハーレル・ナギー	Poul Emil Naggair	一九
55.	ジリアン・ネーフィ	Julian Nathan	一九
56.	ペトリー	R. Petri	一九
57.	アウスランダー	H. Auslander	一九
58.	ペイソホフ博士	A. M. Peisohoff	一九
59.	ラムキン夫人	Mrs. S. F. Ramplin	一九
60.	ロザリオ	Eugen Rozario	一九
61.	ロバートソン夫人	Madam Robertson	一九
62.	フレデリック・ロス	Sir Frederick Leith Ross	一九
63.	ビクター・サッソン卿	Sir Victor Sassoon	一九
64.	チャーチル・サッソン	Sassoon Banking Corporation	一九
65.	ダヴィッド・サッソン	David Sassoon Co. Ltd.	一九
66.	エドワード・サッソン	D. Sassoon Co. Ltd.	一九
67.	ソーラー	De Sola Pool	一九
68.	ソコロフ	A. A. Sokoloff	一九
69.	サルモン	J. E. Salmon	一九
70.	フィリップ・アングル夫人	Philip Angelo Sante	一九
71.	ソフィア・トーグ	Sophia Toeg	一九
72.	エマ・トーチテンベルグ	Emmer Trachtenberg	一九
73.	ソロモン・トーチテンベルグ	Solomon Trachtenberg	一九
74.	ナーゲルニン	N. A. Wilgelmijn	一九
75.	マックス・ゼイロンカ	Max. Zeilonka	一九
76.	ヤコブ・ジリンスキ	Jacob Zirinsky	一九

附錄其一

○英國政府を圍る猶太色彩

九七

附錄其二

○米國大統領ルーズヴェルトと其の取巻き猶太人連

104

支那を繞り政治、經濟並に宣傳に活躍する
上海猶太銘鑑

〔一〕アーノルド C. H. Arnhold



住 所 上海南京路一號沙遜高樓
營業所 サッスーン・ハウス内

商 號 Arnhold & Company Ltd.

和蘭系猶太人にしてロツテルダム港に生る。母はブ
リストルに生れたる和蘭人の猶太にて、現在アーノ
ルド家は倫敦に住す。

アーノルド商會の事業次の如し。

營業課目 棉花輸出入機械並に請負工事
代理店 Employers Liability Assur Corp.
同 South British Marine Ins. Co.
同 Marchant Marine Jus. Co.

同	Himalaya Assurance Ltd.
同	Vickers Electrick Export Co.
同	Hiury Simons Ltd.
同	Ruston & Harnsby Ltd.
同	Aaron Sassoon Gubbay Co.
管 理	
同	上海市街乘合自動車會社
同	チヤイナ輸出入木材商會
同	ニューアインジニア・シッピング會社
同	西蘭絹布會社
同	カセー土地賣買信託會社
同	カセーホテル
同	サツスーン・ステーブル
同	光華石油會社サツスーン業務
アーノルド商會の陣容次の如し。	
社 長	C. H. Arnhold
總 支 配 人	C. J. Meager
役	
H. E. • アーノルド	H. E. Arnhold
F. R. • ドガイ	F. R. Davey
A. E. • マーカー	A. E. Marker
H. M. • マン	H. M. Mann
W. ヒル	W. Hill
H. ブース	H. Booth
棉花部 主任	C. Shutleworth
五金部 主任	P. Holzneller
機 械 土 木	V. Rose
自動車主任	H. R. Holgate
電氣部主任	K. D. Lee
織物部主任	A. F. Buyers
飛行部主任	F. A. Swoffer
雜貨部主任	B. Hoeckel
建築材料主任	J. Berents
財產管理部主任	E. S. Barracugh

船舶部主任 オ・ホール

P. T. O' nail

会計部主任 ブライン

A. R. Brayn

電信部主任 ガンター娘

J. H. Gunter (Miss)

通信部主任 セケイラ

C. M. Sequia

日本雑貨部員 石井

I. Ishii

其の他普通外人社員

二十一名

中國人雇員

六十五名

總計(二十二名主任以上を加へて) 百〇七人

アーノルド氏はサツヌーン財團傍系の大會社にして猶太人資本家流の商買型を破り米國式の管理を行ひ明朗さのある商會である。現在自己の本業の外に十幾會社の代理店を有し日本人主任を置て日本品の取扱ひ賣込みに外交せしめ又蘇聯品の上海市場販賣をなす。サツヌーン商會の事務を管理し上海市電車會社重役、人力車會社經營の資本投下並に乗合自動車會社を經營する等何でも手を出す手廣き營業振りである。

同社の營業成績は頗る良好にして株主配當二割五分と云ふ成績振りを示して居る。勿論同社の金融資金はサツヌーン財團が背景をなすと雖も一面に於てアーノルド氏は多年共同租界局市參事會議長の權職に就き腹心の秘書課長ジヨンスをして市政を意のままに操縦し地位と職權を自己利

益に利用して金儲けに飽くなき辣腕を揮ひ爲めに工部局機關は彼の事業とサツヌーン財團擁護の爲めの存在の觀あり。斯くて上海に扶植せる彼等の勢力と搆取網は牢固として他社の抜く能はざる根據を有し居れり。故にアーノルド氏が本年の工部局市參事會議長の職を米國の代表者フランクリン氏に譲りて本月二十七日英本國に休暇歸省に對し工部局義勇隊は波止場に樂隊にて閱兵式を行つて見送りを盛にする等總ての工部局機關は彼等の爲めに自由に有效に利用せられつつある事を物語るものである。

同社は又共同租界西區エキステンションに資本金二千五百萬弗の土地會社を創立して競馬場、犬競賽場、ダンスホールの經營を劃策し又自己の管理する乗合自動車線の延長、市街住宅の經營等々總て土地投資に伴ふ利權を獲得し特別行政區を創設して工部局延長勢力地帶に置き工部局警察部より副總監ヤング氏を配して彼等事業擁護を企圖しつつあり。目下關係國日英支三國間に交渉中なる上海特別區問題を背面より牛耳りつつあるなり。

【2】アーブラハム D. E. J. Abraham

住宅 上海佛爾西租界アベニューフォーチ八一〇號

營業所 共同租界北京路八十三號

商號 益豐洋行(アーブラハム商會)

アラブ系英國猶太人にして本年六十七歳白髪の老人
アラムの妻女はイラキアン猶太人にして上海駐在イラ
ク總領事は彼女の遠縁に當る。



アラム氏は實兄と共同にて上海共同租界北京路
八十三號にアラム商會を經營し煙草原料及び輸出
入商を營む外に香港の豪商イエス・アラムビルブ
ローカー兼金銀地金商の上海代理店を兼ねて居る、店
員は全部アラム家一族の者を集め秘書格のコーヘ
ン氏は主として金銀地金の業務を擔任す、實兄エス・
アラムは先年死亡し未亡人其の権利を繼承し居れ

り。

氏は本職の他に猶太教會の監督ブナイ・ブライス結社の幹部、猶太教會堂圖書館管理を兼任して居るが性格學者肌の紳士にして政治法律に通じて居る。

アラム氏は以前上海猶太教の民間治安判事を勤めた事あり故ハーデン翁の死後遺産争ひの裁判が英國總領事館法廷に於て開審せられたる時特に陪席判事の資格にて出席せる事ありハーデン未亡人（支那人の女）は異宗徒である事を主張して同家の宗教關係の財產及び圖書等はハーデ

ン家の縁者（バレスタインに居住する）に引渡すを要求し英國法律全能を以て猶太教徒を判決する事を拒否し遂にこの裁判はアラム陪審判事の主張に賛成したと云ふ記録を持つて居る。

アラム氏は千九百三十年以來同三十四年迄上海 Bnai Brit 結社のプレジデントに就任し猶太教徒の特權アーロンの待遇を受け同族間に尊敬せられて居る。

氏は特に新興日本勢力に對する興味を有する人にて滿洲建國に關する新聞雜誌の記事を切抜帳に集めて研究して居る故エズラ氏の言によれば

「アラム氏は滿洲建國と猶太の經濟投資猶太移民の滿洲移住に關して或る計畫を立て協會の會合に於ても常に滿洲開發に就て意見を述べて居た」

【3】アシケナジ D. Z. Ashkenazi



アシケナジ
住所 上海佛租界ボールヘンリー街七號
職業 宗教家
千八百八十三年エルサレムに生る。

ルーマニア系猶太人なり現在上海の猶太寺院オーハルモーシに奉職す同族社會に於て著名の士なり。

上海ユダヤクラブの役員を勤む。

アシケナジ氏は現在上海のオーヘル・モーシ寺院に勤めつつある熱烈なる宗教家にして同族人間に尊敬せられ上海猶太俱樂部は昨年七月猶太人のサバツス祭を機會にアシケナジ氏に對する社會奉仕感謝式を舉行し同族人の義捐金一千磅を寄贈し俱樂部の理事長プロツチ氏は次の如き表彰の辭を述べたり。

「アシケナジ氏は熱烈なる同宗派の講法士にして、氏の過去に於ける民族擁護と神の指示する我等の生活の爲めに又我等の經濟生活保證の爲めに Ort の組織を、吾等の健康保持の爲めに Oz 的使命を帶びて、東洋猶太社會の爲めに懸命に努力せられ、本年四月倫敦本部を代表して來滬せられたるメレツシユ・ラビツシと共に完成し、又イデツシユ文學（ヘブライ語と中古獨逸語との混淆語）の爲めに働き、散文詩劇の研究と出版に獻身的貢獻あり、已に倫敦 P E N 俱樂部（國際文學作者團體）より名譽ある表彰を受けられたり。其の他各地に散在する猶太人の生活狀態を調査して猶太百科全書に貢獻せられる等、幾多の貴き研究を遂げて猶太文明に功勞ありたり、亦兒童教育に關してはボーランド、ルーマニアの兒童教科書の資料を編纂して教育界に盡されたり」。



アシケナジ氏の猶太社會に奉任せられたるは以上の諸事業に止まらず歐洲大戰に參加して勳功ありたる猶太十五聯隊の參戰記を著述して記念する等同族民間に尊敬を拂はれて居る。
寫眞はアシケナジ氏の夫人にて青島に閑居してイデツシユ文學の研究をせられて居る。

〔4〕ジョシュア・アシケンナルジ Joushua Ashkennargi

住 所 北滿ハルビン市
職 務 雜誌記者と新聞通信

勤 先 ハルビン・ジュウス・ライフ誌

寫眞はアシケンナルジ氏が昨年十月上海猶太人オーヘル・モ

ルシ寺院に於て結婚式を挙げたる記念。

アシケンナルジ氏の兩親は上海佛租界ボールヘンリー街七號に在り猶太の熱心なる宗教家にて猶太社會より表彰せられ金一千磅を贈られたることあり又母親は上海オルト及びオズの熱心

なる慈善奉仕家なり。

アシケンナルジ氏は先年ヘブリュー大學を卒業して上海に歸り猶太學校の教員兼教務委員を勤め佛蘭西の同族機關誌の中國通信を書いて居たが昨年十月上海にて結婚し目下ハルビン市の猶太



ジルナンケシア アユショジ

機關誌ジユウス・ライフの記者を勤む。

〔5〕アーサー・ソフェヤー Arthur Sopher



住宅 上海白利南路四一號
營業所 九江路二十號
英國籍猶太人、兄弟二人あり。
兄をアーサー、弟をテオドラと呼び和蘭系ジユウナ
リ。

出生地は上海。

Arthur 氏は元上海チャイナプレス（大陸報）の發行人であつたソフェヤー未亡人の子にして千九百二年上海に生れ、英國のジユウイス・カレジに學ぶ。

(Jewish College Queen square House London)

母親ソフェヤーは英國のブリストンに生れたる和蘭系猶太人で宗派はオーヘル・モルシに屬す。ソフェヤー兄弟は現在母の資産を繼ぎ共同租界九江路二〇號にソフェヤー兄弟商會を經營して土地賣買、工場金融、信託業を營み又香港株式取引所の仲買店を營み居れり。

〔6〕テオドラ・ソフェヤー Theodora Sopher



住宅 上海白利南路四一號
營業所 九江路二〇號
千九百〇七年上海に生る。
英籍猶太人
千九百三十一年香港大學を卒業す。

〔7〕英國極東艦隊乗組水兵トランペルダー會 British Sailors Trumpeter Org.

寫眞は英國の極東艦隊乗組水兵達の間に組織さるるトランペルダー會にて會の目的精神は猶太祖先先輩を尊敬して猶太の苦闘を記念する精神的善導の會である、然し宗派の中に組織さる會で猶太全體のもので無い。



會一ダルエブンラト兵水

【∞】 ハーリー・バルト Henry Barde



住 宅 佛租界海格路五二一號
營業所 エドワード七世路九號
職 業 ハバス通信社上海支局(極東部)
人、同社の主筆ジャツクエス氏、記者マルクス氏
も猶太人なり。

バルデ氏はハバス通信極東局長にして局の主筆 Desechot Jacques. は佛租界環龍路九九號アパート四〇五號室に住す。

記者 Marcuse J. は共同租界愛而白納街六號 (albury Lane.) に住、三者共に猶太人なり。
(通信社の内容は省略す)

【9】 ブロドスキ E. Brodsky

住 所 佛租界 Rte. Vallon 八八 Pass 11號
公 職 ベリス・トランブ・エルダー上海支部長



ブロドスキ一家

ロシヤン猶太人

ヴオロヴィツク夫人 (D. Volovik)

ルバルスキ娘 (R. Lubarsky)

ブロドスキ氏 (E. Brodsky)

以上三名支部幹部

ブロドスキ氏は Berith-Trumpelder 會の上海支部長を勤め猶太先祖の敬老運動を任務として居る、支部幹部には Mrs. D. Volovik, Miss R. Lubarsky あり、上海猶太協會は支部員慰勞會を毎年一回ユデア・クラブに開きて部員の貢献を感謝する習慣がある。

寫眞は昨年十月十三日ユデヤ俱樂部に於ける慰勞會の記念撮影である、胸の徽章は極東各地の猶太社會から表彰したものである。

【10】 ブロツチ M. S. Bloch

住 所 上海佛租界 Rte. Courbet 110 1號
營業所 黃浦灘路十四號
商 號 Bloch Mfg and Lumber Co. Ltd.

公 職 猶太 (ashkenazi) 自治協會會長

英國籍猶太人にて 西木材會社を經營す（香港登記）

プロツチ氏は黃浦灘十四號に營業所を、ゼスファイル

ト公園に製材工場を設け箱、床板を製造し仕上げ工事

請負をなす、鐵道枕木を輸入す、代理店は

Weetack & Co.

Seoborn Caulicentice & Flooring Co.

氏はアシケン猶太人にて千九百三十六年八月に猶太自然協會役員改選に當り協會會長に推舉せられて就任し、其の就任演說の中に次の如き猶太民族發展の basic 精神を鼓吹した。

〔前略〕

哈爾賓方面に於ける猶太排斥運動は白露人の有する傳統的排猶思想ばかりでなく東洋に於て國籍を發見せんとする白系露人の生活に對する待望と猶太人或は猶太の資本の北滿方面への考へる事は出來ぬ政治的組織的の排猶が行はれて居る性質を見落してはならない、故に吾々は關心を拂はねばならぬ。

而して吾人の亞細亞に於ける新使命に就て余の過去に於ける體驗を述ぶれば

今日の土耳其を驚歎の目を以つて眺めると同時にアフガニスタンの進展を著しく見、最近支那の建國事業を顯著なる實例と見るならば最早世界の社會經濟、政治は全く轉回して新たなる世界の創造を認識せねばならぬ、新興日本の滿洲國建設は十五年乃至二十五年の將來には必ずや吾々民族との接合融和を必要となし之を要求する時が来るであらうと信じて居る、世界の平和は期間的にして人類の進歩は無限である、であるならば其の期間的の繼續には新たなる決戰的鬭爭の段階を越へて次期への飛躍を要するであらう、其の方法は戰爭か條約か豫想せられないが平和的、破壊的の何れにせよ、吾々東洋に生活の根據を置くものに取つては關係が重大であり傍観は許されないであらう、故に吾人は平素に於て之が對應策を研究し樹立して置く事は當然の本能的の備へであると信じて居る、其の實例は土耳其に於てアフガニスタンに於て吾人の前に表明せられて居る、平和を愛好し世界の平和の促進運動に使命を有する吾が民族は時が來れば重要な役割を負擔せねばならぬ事を確信す。」

云々と興味深き抱負の一端を發表した。

〔一〕 ル N. G. Beale

ビール氏は英國男爵ジョウジ・ビール氏の經營に係る上海英商通用電器公司 (General Electric Co. of China Ltd.) の代理人にて男の實弟である、住宅佛租界 Corneille 街八號

寫眞は經營者ビール男爵にて英國猶太の貴族なり。

英商通用電器公司は共同租界寧波路二二一一七號に

あり、男の實弟ビール氏總支配人を勤む。



店長は Turner P. W. 氏、天津支店長は Eddie W. 氏にて中國以外の主要都市に支店又は出張所を置き、電器具の廣込み電氣工事を請負ふ外に十數ヶ會社の代理店を營む。

代理店左の如く。

1. The General Electric Co. London
2. Pirelli Co. Ltd. London
3. Chamberlain & Hookham Co. Birmingham
4. Fraser & Chalmers Eng. Co. Kent.
5. The Express & S. M. S. Life Co. London
6. Souberson Bros. Co. Sheffield
7. Chos, Schieren Co. U. Y. U. S. A.
8. Ransome & Ropier Co. London
9. Watson and Son Co. London
10. The Siemens & General Electric Railway Signal Co. London
11. Person Oil Enqire Co. Southampton
12. Flexible steel Lacings Co. Chicago
13. British Ropes Co. London
14. Manchester and Coventry Pirelli Co. London.

(二七)

【圖】 N. Burns

住 所 上海共同租界靜安寺路一七三號

勤 先 上海電力會社技師

公 職 猶太避難民救濟會委員

國籍 猶太人なり。

現在上海電力會社の技師を勤む。

【2】 ロバート・ビッカーホーリー Robert Bitker

住 宅 佛租界アルバート路三七五號
職 業 貿易商
公 職 工部局義勇隊ユデヤ隊長

ビットカーハー氏は北米合衆國フロリダ・ユデヤ・コロニーに生れたる米國籍猶太人にして米國陸軍休職將校にして現在共同租界工部局義勇隊の猶太隊長なり。

寫眞は上海工部局義勇隊の猶太隊にて中央肥大的男は隊長ビットカーハー氏である。

本隊は全員五十餘名あり。

この記念撮影は千九百三十五年四月十八日大馬路競馬場にて行はれたる義勇隊指揮官グラハム大佐の檢閱式當日猶太隊全員を撮つたものである。

本職は貿易商にてアメリカン・アジャチック・ツレーデング商會の上海總支配人として活躍し、左の七會社の支那總代理店



— 18 —

を兼任す。

1. William S. Merrell Co. Ohio U. S. A.
2. San-Nop-Park Mfg Co. New York U. S. A.
3. Bayer International Laboratories Chicago U. S. A.
4. Marion Lombert Co. St. Louis U. S. A.
5. Kathrine Mac'Donald Co. California U. S. A.
6. Edgar Korn Co. New York, U. S. A.
7. Friedrich Herkenrath Co. Germany

【14】 メンドル・ブラウ Rev. Mendel Brown

住 宅 上海共同租界西摩路十六號

イスパニア種猶太人にして米國シンシナチー市産なるも幼にして英國ブリマス市に移住し英國籍を有す。

現職は西摩路五〇〇號にある猶太教會 Ohel-Rachel

の司會者にして、其の他幾多猶太同族の團體に公職を持ち、又猶太の機關誌エストラヘル・メツセンヂヤー誌の發行人なり。

氏の來滬は千九百三十四年五月にして、目的は極東に於ける猶太同族民の團結を計り獨逸の極

東ナチ運動指導者ハセノールの反猶運動に對抗して同族民の權利を擁護する使命を帶び、千九百三十四年英國サイオニスト教會本部派遣の代表者ベン・シヨン・シェーン博士と同道して上海に來り、爾來熱心なる猶太民族結合運動の責任者として活躍す。氏の關係する團體次の如し。

上海猶太協會（司會者たり）

上海猶太民族擁護運動會

上海サイオニスト協會委員

上海オヘル・ラチエル教會委員

上海ウクライナ猶太俱樂部會員

猶太避難民救濟協會委員

上海猶太スボーツ俱樂部顧問

メンデル・ブラウン氏の獨逸ナチ運動反對工作の指導精神は氏が上海着任當日アストル旅館に於ける演説に次の如き内容の猶太民族に與ふる教書を發表した。

「最も神聖なるイスラヘル宗徒よ、我等は人生の動亂より猶太教會の平和の中に逃れ神と人との和解合致を求めよ」

人の權利を否定し安住の權利を連日足の下に躊躇せられて深刻なる試練を経たる吾等の兄弟

を追憶すれば吾人の傷心に基へ難きものあるを覺えしむ。

吾人兄弟の今日の問題は吾人自らの問題にして人類生活に神聖なるものを唱導する人々凡ての問題なり、測り難き神の意志に順應し、吾人は逆境に泣く兄弟の爲にトーラ及びタルムードに指示せらるる吾等の忠誠なる繼承的觀念を覆滅することなく永遠なる行動をなすべきなり。

吾等の宗徒は聖の義を毀損し神の與へたる人類の平和なる生存權を剝奪し迫害するものは「汝に武器と武力を以て向ふものは滅び、汝を誹謗するものは其の罪を自ら負ふ可し」のイスラエルの約言に依り其の罪を受けるべし。

吾人父祖、吾人の祈禱に對して神は天に通する聖門を開き全きを後悔なすものは皆許さるべし、全世界の人々に平和なる猶太の神靈を弘め真正なる心より汝の意志を促進して神の逆徒をして悔ひ改めしむべし」云々

此の猶太の教書はメンデル・ブラウン氏が倫敦を出發するに際し倫敦本部より極東猶太同宗民族に與へたる民族結合運動の指導精神にして氏は着任後の活動は凡てこの教義を遵奉して獨逸のナチ極東支部の活動に對抗陣を張つて居るものである（教書の執筆者はヨセフ・ミミロワ（Joseph. Mimirower）と云ふ猶太教の弘法博士である）

附 記

メンデル・ブラウン氏は上海猶太協會の宣傳機關紙エスラエル・メツセンヂヤー主筆兼發行人E.

D・エズラ氏客年十二月三日病死以來、同誌の發行を繼承して續刊し、極東猶太の爲に氣焰をあげつゝあり。

發行部數約三千部内外なり。

【15】レオン・コーシン Mons Leon Coursin



所屬籍
國際聯盟
職務
中國全國經濟建設委員會合作員
專門
水利土木技師
ンシーコ・ンオレ

作員として特派せらる。

コーシン氏は中國全國經濟委員會の水利事業技術合作員として一九三四年國際聯盟より特派せられ、同年六月着任以來次の各所に於ける水利土木設計工程を監督す。

一、陝西省經惠渠土木管理局（完成す）

一、綏遠民生渠水利事業は聯盟専門員オモジア氏と合作調査の上工事困難にて中止す。

上海住宅 共同租界愚園路千三百九十六號

アパート七號室

- 一、甘肅省水渠工程測量
- 一、密夏雲亭渠放水路設計
- 一、黃河水利委員會堤防工程技術合作
- 一、梅河浚渫工程及永定河工程
- 一、河北龍鳳河調節閘門設計
- 一、導淮入海水道工程（楊莊周門）
- 其他幾多の水利放水溝を設計測量監督等に從事し居れり。
中國の水利事業技術合作員はコーシン（英）、オモジア（英）、メートウー（和蘭）、ウエンゴス（獨逸）、エーマード（波蘭）等五名あり。

【16】レイ・コウヘン娘 Miss Ray Cohen



住 所 サツステンハウス内サツステン住宅内
親の居所 共同租界新闢路一三〇四號
勤 務 E・D・サツステン氏の祕書役
娘ンヘウコ・イーレ
英國籍猶太人 S.P.Cohen の娘にて E・D・サツス

ーン翁の祕書として住宅内に同居し訪問客の接待應

接をなし女房代りの翁の慰安者である。

コウヘン嬢はサツーン銀行員S・P・コウヘンの娘にて當年二十八歳の美貌の持主、E・D・サツーン翁の女秘書を勤めサツーン財閥の機要事務に携り中國側要人等の間に接觸して外交接待に努め中國建設銀行公司總經理宋子良と懇意の間柄である。

嬢は常にサツーン翁の私室に居住して事務所には姿を見せず翁は獨身生活者であるから身の廻りを世話して忠實に働き總ての切廻し一切を委任せられて居る。

其の關係は大谷光瑞師の武子嬢の如きものである。

【17】ゼー・コウヘン J. Cohen



住 宅 上海佛租界 Rte de Say Zoog 11111
營業所 四川路一四九號 二三九號室
公 職 上海英國居留民聯合會委員
ボーランド系英國籍猶太人にて宗派はオーヘル・レ
ナー・シナゴーグに屬す。

コウヘン氏は大英教育社の支配人にて種族はボーランド系猶太人なり商社は共同租界四川路一四九號にあり社員(英人)七名あり全部猶太人である。

社の英名は British Educational Agency と稱し營業科目は商品主として工藝品の通信販賣を營み博物標本等を支那の學校に納入す、其の他各國の活動フキルムの輸入取扱ひをなし (British Film Co.) 又ベンネット・カレジの極東事務取扱をなして居る。

コウヘン氏の公職は上海居留英國人聯合會委員を勤め、工部局市參事會員選舉の際は例年選舉委員に指名せられ熱心に運動をなして居るが氏の娘サリヤ・コウヘン嬢は父と共に選舉運動を手傳ひ當時外字新聞に記事が出た事あり政治問題の興味を持ちキリスト教女子青年會に講演に行く事がある、親子共に活動家である。

【18】ラエ・コウヘン嬢 Rae Cohen



住 所 西摩路第一弄六四〇號
勤 先 亞細亞石油上海支店
英國籍猶太人にして香港生れ、香港大學を卒業す。
亞細亞石油の電信係りを勤む。
當年二十八歳。

コウヘン嬢は千九百三十四年香港大學を卒業して上海に來り彼女の伯父伯母の家西摩路第一弄六四〇號に寄寓して亞細亞石油上海支店の電信課に勤

務す（月給百七十五弗）

彼女の父は香港の Aaron Sassoon Gubbay 會社のセメント工場技師にして彼女の實兄コウヘンは David Sassoon Co. に就職し居れり。

コウヘン嬢は上海猶太エリテー協會の幹事を勤め又避難民協會、猶太音樂同好會オーヘル・ラツセル・シナゴーグの委員等幾多の團體幹部を公職し同族婦女界に花形として活動して居るが勤先きでは重役ジョンス氏の信任を受け一切の電信事務を擔當して居る。

彼女は毎年日本に夏期旅行をなし日本風景の絶讀者である。

【19】エ ラ N. E. B. Ezra



ラ

昨年十二月三日年齢五十七歳にて病死す。

エズラは四川路三三〇號に事務所を設け本業はチャイナ・バレスタイン貿易商を營むも氏は上海猶太協會の宣傳部委員長を奉じ同會の對外宣傳機關アラビヤ猶太人英國籍

住 宅 上海共同租界西摩路太平街六號
職 業 雜誌發行
技 術 家屋建築

紙エスラエル・メツセンヂヤー誌の發行人となり自ら主筆を兼ねて居た、其の他申新造營廠の外人部支配人として所々の建築請負入札に加はり彼が建築方面に於て大きな仕事をなしたのは北蘇州路河岸のエムバンクメント・ハウスの請負であつたが自ら設計する能力の所有者である。

エズラ氏は多く日本人知己を有し雑誌發行人として知られて居るが彼が建築方面に又政治方面に或は猶太人の結社人として明暗兩面に活躍しつつある人物である事を知る日本人は稀である。

エズラ氏の日本朝野に於ける名士名門の知り人は田中男（故人）重光（外務）小谷部博士、杉村陽太郎、河上博士（左翼）林權助氏等の外に歷代上海に駐劄する日本總領事は大抵エズラの知己である。矢田七太郎、石射猪太郎氏等は特に親交があつた外に往復文件も幾多交され其の内容が時々エスラエル・メツセンヂヤー誌に掲載せられた事がある。就中重光（次官時代）氏とは特に交情ありエズラの渡日と重光氏の會見は重要視せられて居たが、エズラの渡日目的は滿洲國に猶太移民の入國と北滿に於ける同族人の營業に關する交渉が主なるものであつたとエズラ自身が語つた事がある。

エズラの公職は猶太協會、避難民救濟會、復興協會、オルト社、オヅ社、教會委員會、Bnai Brith、猶太デフェンス協會、クリニツク俱樂部等々十餘個の團體に委員として關係し其の勢力絶倫なる彼の活動は有名なものであつた。

エズラの對日活動

上海の猶太人の中最も日本人に接近し又能く日本人の長短を辨へて交際する者は彼れエズラ氏にて、滿洲國出現後は特に努めて日本の朝野に接近し、上海に於ては東亞同文書院、日本キリスト青年會等で屢々講演して日猶の親交を説き、又大連に開催せられたる大亞細亞會議には長文の祝辭的協賛電報を寄せ「東洋平和の熱烈なる協力者である」と通告して日猶協調大亞細亞建設を唱導したが、一度北滿に於ける共產黨檢舉と猶太排斥が起り（白露人社會から）滿洲國日系官吏の彼等に對する措置が猶太人の不平となつて現れ、同時に日本當局の方針が猶太の滿洲移入に反對の意嚮が表明せられるや、彼エズラはハルビン日本總領事森島に直接抗議電報を發し、上海日本總領事には自ら出頭して抗議を提出し、或は本省直接に或は又米國の同志を動かして駐米日本大使に抗議を出さしめる等總ての緩和運動を試みたが、其等の運動は効果なくして北滿の排猶運動依然として行はれつつある状態に對し、上海猶太協會は對策會議を開き討論を行つた結果猶太の滿洲入國と授資計畫は絶望にして餘地なきものと見透しをつけ、俄然上海猶太の對日感情は惡化して昨日の親日は今日の排日に豹變を見るに至り、昭和十年二月號エズラエル・メツセンヂヤー誌には滿洲國日系官吏の行政と日本軍部當局に對する痛烈なる攻撃記事を掲載し、ハルビンのAngelvish商會Salimian (I・S・S支配人) Sternberg木材商事件を種にして辛辣なる論調を以て誹謗を始め、堂々日本に對して挑戦的態度を表明し、猶太の多角形人格を遺憾なく暴露するに至つた。

其の後エズラの日本人に對する言動は一變し來り支那人の東北問題に對する民衆運動の裏面に煽動的工作を取るに至つた。

左記は昭和十年二月哈爾賓に於て發行される猶太生活報“Harbin Jewish life”的十五週年記念に對してエズラが送れる祝辭激勵文の要譯である。

「ジュウスライフ誌が一月號を以て第十五週年記念日を祝賀せらる事は極めて吾々の満足する所なり。」

哈爾賓在住猶太人及び外國に居留する凡ての吾民族の擧げて喜ぶべき又意義深き記念なり、吾民族は何處にありても、少數なる吾民族が優越せる智識を以て生活經濟平和闘争の爲めに戦ひ過去に於ても將來に於ても努力するであらう同族の誇りにして存在の爲めに同様なる手段に依りて、闘争せられ試練せらる可きて、生存の權利生活の權利闘争の自由等の責任は神聖なる同族の共同責任であると共に其の共同なる喜びなり。

吾人の知る在滿洲在獨逸の排斥壓迫は歴史に記錄せらるべき吾等の生存權の否認にして今や吾徒は神より對滿對獨に對抗する吾人の義務を我が祖より呼稱せられ居れり。

吾民族の各地に於ける緊急危機は斷然看過し能はざる所にして猶太の理想を回顧し白日の下に亂舞しつつある偶像と傀儡に抗争せざるべからず。ジュウスライフ誌の十五年記念に對し深刻なる祝辭を呈し猶太の生活と理想に於て最善にして高潔なる吾徒識者の魂に育成せられつつある生

存の闘争を繼續すべき事を謹告す。自由と闘争、救世的闘争、民族の闘争は吾人の傳統にして之を激励感銘せしむるは吾人の義務なり。」云々

エズラは五十七歳にして流行感冒に斃れ彼の意志は息子に繼がれ家族は尙上海に居住す。

【20】セシル・エズラ Cecil Ezra



住宅 佛租界霞飛路一二〇九號
事務所 共同租界九江路一五〇號
公職 國民政府實業部顧問
英國籍猶太人にて千萬長者と稱せられたるエドワード・エズラ氏の長男なり。

現在兄弟にて新康洋行を經營す。

セシル・エズラ氏は故エドワード・エズラの長男にて現在共同租界九江路一五〇號に兄弟合資の新康洋行を經營し土地、信託、一般商事に從事しつつあるが多く南京に在りて洋行は實弟のデンジル・エズラ氏に委せて居る。

新康洋行の内容は合資三十萬弗と稱せられ、兄セシル弟デンジルの外に母親ミセスエドワード・エズラも共同事業に加入し、土地管理支配人には Isaac Samson 氏専任し、庶務はザール P. D.



手騎とラズエ・ルシセ

Zoar が取扱ひ、信託はデンジル・エズラ自身が擔當して居るが、兄のセシル・エズラは國民政府實業部顧問に就任し英支兩國の經濟、金融其他政治方面に活動しつつあり、兄弟共に活動家である。(エドワード・エズラはハーダンと共に上海の富豪であり資産千萬弗と稱せられたが晩年に至り株式取引に失敗して私產僅かに三十萬弗を残して死亡せり)。

セシルは競馬に熱中し二十頭の馬を持つて居るが彼の専屬騎手は中英康款理事會英國理事マーシャル氏の息子にて南京豆の綽名を持つマーシャル君にて昨年上海競馬俱樂部クーギー盃競馬に優勝す。寫真は騎手南京豆とセシル・エズラ氏

【21】デンジル・エズラ Denzil Ezra

住所 佛租界霞飛路一二〇九號
營業所 共同租界九江路百五十號
事務所 九江路花旗銀行ビル一二二號室

英國籍猶太人にて實兄セシル・エズラと共同經營にて商賣す、兄は國民政府實業部顧問なり。

デンジル・エズラはエドワード・エズラの一男にて上海に生る。



ラズエ・ルジンデ

父エズラは英租界目抜き南京路方面の大地主として百萬長者を謳はれたが、晩年は株式取引の失敗にて財産を失ひ僅か三十萬弗位を兄弟二人に分配したと云はる。がデンジル・エズラ氏は其の二男に當る息子である。

新康洋行は兄のセシルと共に經營の店であるが營業科目は土地賣買、信託及一般商事である。

佛租界霞飛路に母と兄弟同居す。



ーダンラグンイ

住居所及 上海北蘇州路エンバンクメントハウス内
職業 猶太教の講法使

千八百八十五年バグダットに生れ、英國籍を有する猶太人なり。バレスタインより昨年來滬し、極東同宗族の中に猶太教の道を説く宗教家にして信用厚し。

イングランダー氏はバグダットに生れ、ヘブリュ

ー大學卒業後英京倫敦に留學し、レーモンド家の世話を受けたが、後ヴィンナ大學の助教授となつて赴任し、千九百十七年バレスタインに歸り、猶太大學の教授となつた。イングランダー氏は無妻主義者にして尙妻帶せず、宗教生活を熱心に續けつつあり。千九百二十五年バレスタイン駐在英國最高委員アーサー・ウォーチャップス將軍 (Lieut General Sir Arthur Wauchope) の信任を受けて委任統治府の參議に推薦せられ、將軍を扶けて統治領行政の樞機に參與し、アラブ民族との宗教闘争問題に努力して手腕をあげ、英國政府より英領屬國或は殖民地に於ける猶太人社會に宗教講法使として派遣せらるる事になつた。イングランダー氏は英領ダーバン港(アフリカ東海岸の)に駐在する事二年にして印度のマドラスに轉じ、昨年四月上海に來れり。

氏は來滬後上海猶太と密接關係ある北滿哈爾賓方面の猶太人及西比利亞各地の猶太同宗族の生活狀況を視察の上、シベリヤ鐵道にてバレスタインに歸國する豫定にて、昨年八月上海を發足し、ハ爾賓に赴きたるも蘇聯入國の許可證交付を拒絶せられ再び上海に引返し、船にて印度經由歸國に就いたが、本年六月中に上海に歸任の筈である。



スプツヤチオウ ーサー

因に記す「イングランダー氏の生活費一切は香港の豪商 E. M. Raymond 家より寄附せられて居る。

寫眞はイングランダーを信任するバレスタイン委任

デンジル・エズラはエドワード・エズラの二男にて
上海に生る。



ラザエ・ルジンスキー

父エズラは英租界目抜き南京路方面の大地主として
百萬長者を誇はれたが晩年は株式取引の失敗にて財産
を失ひ僅か三十萬弗位を兄弟二人に分配したと云はる
がデンジル・エズラ氏は其の二男に當る息子である。

新康洋行は兄のセシルと共同經營の店であるが營業科目は土地賣買、信託及一般商事である。
佛租界霞飛路に母と兄弟同居す。

〔22〕イングランダー Rabbi D. Englander



ーダンラグナー

住居及 事務所 上海北蘇州路エンパンクメントハウス内
職業 猶太教の講法使

千八百八十五年バグダッドに生れ英國籍を有する猶
太人なり。バレスタインより昨年來滬し、極東同宗
族の中に猶太教の道を説く宗教家にして信用厚し。

イングランダー氏はバグダットに生れ、ヘブリュ

ー大學卒業後英京倫敦に留學しレーモンド家の世話を受けたが、後ウインナ大學の助教授となつて赴任し千九百十七年バレスタインに歸り猶太大學の教授となつた。イングランダー氏は無妻主義者にして尙妻帶せず宗教生活を熱心に續けつつあり。千九百二十五年バレスタイン駐在英國最高委員アーサー・ウォーチャップス將軍 (Lieut General Sir Arthur Wauchope) の信任を受けて委任統治府の參議に推薦せられ、將軍を扶けて統治領行政の樞機に參與し、アラブ民族との宗教鬭争問題に努力して手腕をあげ、英國政府より英領屬國或は殖民地に於ける猶太人社會に宗教講法使として派遣せらるる事になつた。イングランダー氏は英領ダーバン港(アフリカ東海岸の)に駐在する事二年にして印度のマドラスに轉じ昨年四月上海に來れり。

氏は來滬後上海猶太と密接關係ある北滿哈爾賓方面の猶太人及西比利亞各地の猶太同宗族の生活狀況を視察の上シベリヤ鐵道にてバレスタインに歸國する豫定にて昨年八月上海を發足し哈爾賓に赴きたるも蘇聯人國の許可證交付を拒絶せられ再び上海に引返し船にて印度經由歸國に就いたが本年六月中に上海に歸任の筈である。

因に記す「イングランダー氏の生活費一切は香港の豪商 E. M. Raymond 家より寄附せられて居る。
寫眞はイングランダーを信任するバレスタイン委任

スプツヤチオウ ーサー

統治府の最高行政官アーサー・ウォチャップス陸軍中將 L. G. Sir Arthur Wauchaps

將軍はバレスタインに駐在して委任統治領行政を監督するのみならず土耳其のケマルバシャが蘇聯の腰押して銀行會社其他英國資本家を壓迫する傾向あり之を牽制する爲め汎回教運動の再建を畫策してケマルバシャを抑壓しつつある辣腕家である。

【23】スター・リング・フェッセンデン Stirling Fessenden



グンリーラス
ンデンセツエフ

住 宅 佛蘭西租界巨賴達路六八七號
職 務 共同租界工部局事務總長

本 職 米國の辯護士

フェッセンデン氏はアメリカン猶太人にて工部局事務總長支那側と情意投合の老猶なる人物である。

フェッセンデン氏は米國籍猶太人にて本業は辯護士である。氏は英租界工部局市參事會議長を勤めたる第二人目の米國人にて第一回の議長は今より五十年前一八八三年 Purden 氏當選し其の次の議長はフェッセンデン氏、現在のフランクリン氏は米國人議長の第三人目なり。

氏は工部局事務總長として工部局行政事務を總括し年俸四萬五千弗の高給者なり。
氏が米國人であるに拘らず英租界當時より引續きて工部局最高幹部の職權を把持して尙今日に

及ぶ所以は上海市が猶太によつて建設せられたる猶太市街である特質に於て氏の人種が同族の猶太人である事に起因す。何故ならば市參事會を構成する委員は上海の大實業家若くは其の代辦者なるが故に選任せらる委員が猶太人ばかりである所にフェッセンデン氏の生命があるのである。

氏は民國七年大陸報（チャイナプレス）の所有者エドワード・エズラ死亡後同社の後任社長ソフエヤー氏を助けて自ら社長に就任して經營を掌握し特に同紙の毎金曜日朝刊には猶太特別欄を設けて宣傳記事を掲載したが、本紙の創刊者が排日家のトーマス・ミラード氏であるだけに對日問題の記事取扱ひは兎角日本人側には有利でなかつた（現在に於ても）。

フェッセンデン氏は外國人の老上海にて永年工部局に高給を食んで居り相當私財も蓄積せられ不動産を相當所有しつつあるが、最近特區問題を起して居る西區の外人勢力地帶の中にはフェッセンデン氏の關係する土地會社もあり、問題の交渉が兎角支那側と工部局側の協調合致の爲め日本側が不利に陥つて居る裏面には工部局代表者のフェッセンデンと土地投資會社の利害關係が蟠つて居ると見らる。

【24】フランクリン C. S. Franklin

住 宅 ジヨルダン・アベニュー 二〇〇號
職 業 辯護士

統治府の最高行政官アーサー・ウォチャップス陸軍中將 L. G. Sir Arthur Waugh

將軍はバレスタインに駐在して委任統治領行政を監督するのみならず土耳其のケマルバシヤが蘇聯の腰押して銀行會社其他英國資本家を壓迫する傾向あり之を牽制する爲め汎回教運動の再建を畫策してケマルバシヤを抑壓しつつある辣腕家である。

【23】スター・リング・フェッセンデン Stirling Fessenden



ゲンリー・タス
ンデンセツエフ
住宅 佛蘭西租界巨賴達路六八七號
職務 共同租界工部局事務總長
本職 米國の辯護士

フェッセンデン氏はアメリカン猶太人にて工部局事務總長支那側と情意投合の老猶なる人物である。

フェッセンデン氏は米國籍猶太人にて本業は辯護士である。氏は英租界工部局市參事會議長を勤めたる第二人目の米國人にて第一回の議長は今より五十年前一八八三年 Purden 氏當選し其の次の議長はフェッセンデン氏、現在のフランクリン氏は米國人議長の第三人目なり。

氏は工部局事務總長として工部局行政事務を總括し年俸四萬五千弗の高給者なり。
氏が米國人であるに拘らず英租界當時より引續きて工部局最高幹部の職權を把持して尙今日に

及ぶ所以は上海市が猶太によつて建設せられたる猶太市街である特質に於て氏の人種が同族の猶太人である事に起因す。何故ならば市參事會を構成する委員は上海の大實業家若くは其の代辦者なるが故に選任せらる委員が猶太人ばかりである所につエッセンデン氏の生命があるのである。

氏は民國七年大陸報（チヤイナブレス）の所有者エドワード・エズラ死亡後同社の後任社長ソフエヤー氏を助けて自ら社長に就任して經營を掌握し特に同紙の毎金曜日朝刊には猶太特別欄を設けて宣傳記事を掲載したが、本紙の創刊者が排日家のトーマス・ミラード氏であるだけに對日問題の記事取扱ひは兎角日本人側には有利でなかつた（現在に於ても）。

フェッセンデン氏は外國人の老上海にて永年工部局に高給を食んで居り相當私財も蓄積せられ不動産を相當所有しつつあるが、最近特區問題を起して居る西區の外人勢力地帶の中にはフェッセンデン氏の關係する土地會社もあり、問題の交渉が兎角支那側と工部局側の協調合致の爲め日本側が不利に陥つて居る裏面には工部局代表者のフェッセンデンと土地投資會社の利害關係が蟠つて居ると見らる。

【24】フランクリン C. S. Franklin

住宅 ジヨルダン・アベニュー 二〇〇號
職業 辯護士

勤 先 W. B. Harrington 法律事務所
公 職 上海共同租界工部局市參事會議長

一八九二年米國ミシシッピ州コロンバスに生る。



シタクンラフ

一九二一年來滬同二九年にダラス・チエスター・マン・リーと結婚す。

現工部局市參事會議長

フランクリン氏は現上海租界工部局市參事會議長として租界行政權を握る。

氏は本職辯護士にて一九二一年來支しハーリングトン氏辯護士事務所に勤め今日迄に數回市參事會議員として在留アメリカ人を代表して租界行政に參與す。外に在留米國人會社團體に幾多關係しアメリカ商業會議所、佛蘭西商業會議所、上海競馬俱樂部、萬國競馬總會、上海獵戲會等に加入して名を知られて居る。

【25】ソフィー・フインケルスティン 婦 Sophie Finkelstein

住 所 佛租界 6 B Poss 195 Rte Ghisi
勤 先 南京路サツステーンハウスマッピング洋裝店

南京路サツステーンビル一階に Caloline と商號する婦人洋服店を經營資本主はビクター・サツ



妹姉 シイテスルケンイフ

英國籍猶太人なり。

右 姉のソフィー
左 妹のアンニー

スーン卿であると同族人間に噂せらる。

【26】アニー・ワインケルスティン 婦 Annie Finkelstein

住 所 佛租界 6 B Poss 195 Rte Ghisi

勤 先 四川路一四九号ネル兄弟商會秘書

姉と共に佛租界 Rte Ghisi 一九五號バス六號に住居し四川路一四九 Connell Brother Co. の秘書を勤め兄は倫敦サツステーン本部に勤務す。姉妹二人共美人にて外人社會の花形として驕がれて居る。

【27】モントgomery・ヒューゲッセン Sir Hughes Montgomery K. Hugessen

寫眞は駐華英國大使ヒューゲッセン氏なり。

ヒューゲッセン氏は昨年四月前任英國大使カドガン氏の後任として赴任せられ夫人及び令嬢二



ヒューゲッセン大使

人の四人家族である。上海猶太人はヒューゲッセン大使の來支を以て二人の猶太人の大使があると自慢して居る。今一人の大使は駐華佛蘭西大使ボール・エミル・ナザール氏である。

即ち國家建設設計畫と英國資本の關係を圓滑融和ならしめ、政治的工作の進行は勿論經濟資本關係に於て英支兩國民の融合發展に對し氏の來任は正に適材適所の觀がある。過去二十五ヶ年間の中中國革命軍政時代に於ける英國の對支經濟提携は蔣介石政權に對する英本國保守閥資本家の投資（材料賣込借款等）範圍に於て交渉が保たれて居た概觀があり、前任ラムブソン公使の如きは此の關係の上に立ちて英國の對支政經工作を進めたる代表者であつたであらう。

然しながら中國建設の發展は政治機構が軍政より訓政へ憲政へと進むに從つて又建設諸般の事業性質にも變革を招來し、外國投資の對象は政權者を對照とせず國家を對象として行はれ、極端に言へば「蔣介石は無くとも外國の對支借款は危險を感じない」程度に中國が組織化せられ法治國家的に強化せられ行く趨勢にあり、建設事業の性質も軍政權より國家社會的計畫へと進行し無限の開拓資本を要求するに至つた。此の轉換に對して英國從來の對支經濟政策も又

一變して英本國の所謂官僚資本閥の對支投資より積極政策へと進み、現地猶太財閥の資本利用による對支積極的投資へと變調するに至つた。現在の對支積極投資は即ち其の具體化であるが、猶太資本閥の對支投資を利用する英國政府が其の投資の安全擁護と圓滑なる經濟發展を保護する爲めに駐支大使に猶太人のヒューゲッセン大使を任命した事は寧ろ當然の事であつて、又猶太財閥が大使を驚喜して歡迎し得意になる事は何等の不思議はない。

斯くて中國は政治經濟兩面に於て猶太の資本と權力に操縱せられて行きつつある。

【28】マスリー商會上海代理店 Musty Trading Co. Shanghai Agency



營業所 共同租界四川路六五〇番
代理人 モハメド・ダウド
本店 印度カルカツタ市
日本支店 神戸市
アラブ猶太（英國籍猶太人）

印度に本店を、上海、神戸に支店を開設す。

寫眞は印度の本店主マスリー氏 (G. N. Musry)

マスリー氏は英國猶太、出生地は英國保護國オマンのマスカット港に生る。

印度に本店を有し私產五十萬弗と云はる。

上海に代理店を置き日本製モスリン販賣を營み神戸の代理店は昨年十一月支店に變革し日本品の對外貿易に從事し印度方面より中央亞細亞に日本品の販賣をなす。

氏は昨年夏休を利用して日本の商工業を視察しての歸途上海に立寄り猶太仲間の歡迎會に於て「將來の日印交易の有望を説き自分は之に全力を集中する」と語つた事がある。

【29】ペ ト リ ツ ク Patorick



事務所　黃浦灘路二七ジャーデンマーソン・ビル
内
任務　駐華英國信用貸款局代表
バトリツク氏は英國の對支輸出信用保證局より駐支
代表として本年一月來任す。氏の事務所内には英國
實業聯合會中國特別委員會辦事所を併設す。

バトリツク氏は英國の對支輸出信用保證局より支那駐劄監督として上海に派遣せられ、本年一月着任して以來長江上流各地、西南各地より華北方面を實況視察に赴き中國經濟建設事業を考察したが、氏は英國實業聯合會中國委員會上海事務所のパロツク Pallock 氏を同伴した。

中國建設に需用する材料は四億萬元を限度として猶太の資本團代表サツステンが保證裏書人となつて仲介機關をなして居る。

【30】フレデリック・レイス博士 Frederick Reiss



士博士スイレ・クワリデレフ
公職　中國々立癆病院々長
”　國立皮膚病醫科大學校教授
上海猶太俱樂部理事
英國籍イラク猶太人なり。
獨逸ハンブルヒ醫大の博士なり。
出生地はイラクのバグダード。

レイス博士はイラク國のバグダード市に生れ、バビロニアン病院長レイス氏の息子なり、獨逸のハンブルヒ大學卒業後歸國してバグダード醫科専門學校の教授を奉職したが後香港政廳に招聘せられて皮膚病専門の檢疫官に就任した。

千九百十八年國民政府に招聘せられ上海に來り國立皮膚病醫學研究所に入り癩病院々長となつて今日に及ぶ (Clinical of the National Leprosarium)

博士は熱心なるオーヘル・レシー派の信仰家にてシナゴグ財務委員を勤め、又猶太人の團體方面では復興協會、上海猶太協會委員等幾多の名譽職に就き猶太人社會のみならず外人間に立派な紳士として尊敬せられて居るが、國際金權の從僕と稱せられ猶太人社會には稀なる人格高潔の士である。

【31】ガツベイー C. S. Gatzhey



住宅 拼羅帮路一三〇號
職務 上海猶太學校財務委員兼教務常任委員
アラビアンユデヤ人にて英國籍なり。
非常に熱心なる猶太教育事業家なり。

ガツベイー氏はバレスチのヘブリュウ大學卒業生にて上海猶太子弟教育事業に心盡し、昨年ヒリツビン、シンガポール、南洋各地の猶太人の間を説き廻りて上海乃至はマニラに極東猶太教育の最高學府を設立すべく運動せり。各地の猶太はガツベイー氏の計畫に賛同し目下建設委員會を設け基金積立中である。こ

の計畫の主旨はバレスチайн大學に送る經費と不便を除き極東各地の猶太教育を均等ならしめる爲である。

【32】グラハム大佐 Col. F. R. W. Graham



住宅 共同租界 Yu Yuen Rd. 八五一號
公職 共同租界工部局義勇團指揮官陸軍大佐
英國猶太人にて英國陸軍大佐、現工部局義勇團指揮官である。

【33】ハーレンバーグ Hazan Goldenberg



住所 上海佛租界ラフエット路六六四號
公職 猶太婦女俱樂部書記長
ハザン・ゴールデンバーグ嬢は濠洲メルボルンに生れ英國籍猶太人。同市のセント・キルダ音樂學校を卒業して上海に来る。

ゴールデンバーグ嬢はルーマニア種猶太人であると言はれ、瀋洲メルボーン市に生れ同地の音樂學校 (St. Kilda Hebrew Music School) を卒業して結婚生活に入つたが事情あつて離婚し、

上海の親戚にてR、ゴールデンバーグ氏を頼りて來滬し同氏のラフェット路六六四號に同居して音樂教師を業として生活す。

彼女は職業が音樂教師である反対に鬪争力の強い女性で上海猶太婦女俱樂部の責任者として婦女子に尚武精神を鼓吹し軍事的訓練を教へる等種變りの婦人である。



寫眞はゴールデンバーグ嬢の指揮するJewish Youth Argonization の訓練隊が英國陸軍の検閲を受けつつある光景である。

【34】グリンベルグ L. Greenberg

住 宅 上海共同租界匯山路七十一號

營業所 佛租界 Cardinal Mercier 100號

職 業 中古自動車及び競馬馬匹仲買業

一八八七年ボーランドの Wishogrod に生れ英國籍を有す。



グリンベルグ

一九〇三年上海に來り、現在彼の私產五十萬弗と云はる。

グリンベルグは千八百八十七年ボーランドに生れたが、幼少の頃父親と生別し倫敦競馬俱樂部專屬博

労を營む伯父の家に引取られエデンバルグ中學校を

卒業す。千九百〇三年彼は上海に來り上海競馬俱樂部に騎手を勤いた事あるも、後サツスーンに信用を受け上海レース俱樂部の馬仲買人となる。現在彼の財產は五十萬弗を算し、佛租界マーカー街一〇〇號に中古自動車競賣、自動車ハドソン代理店其の他競馬馬の賣買を營む外に猶太萬國體育會の會長を勤む。

彼は萬國體育會の公職を利用し競馬場關係の商賣を手擴く營業する外に、上海物品交易所の役員を兼ね、投機方面にも手を出して居るが、上海競馬界の大馬主サツスーン及びモーラーに取り入り新馬納入にて莫利を占め居れり。

グリンベルグの宗派は Ohel-Moische 教會に屬し委員制度の教會役員を勤む。

【35】ヘルツ博士 Dr. Hertz

住 所 上海共同租界西摩路五〇〇號

本職（オーヘル・ラツセル派の宣教士）

アラビアン猶太人にて一八七七年アラビヤメデナ市に生る。



ハルツ博士

エルサレム大學に遊び醫科を修めカイロ市に於て醫者を開業せるも、後オーヘル・ラツセル派の宣教士となりて宗教生活に入りて今日に及ぶ。

となりて今日に至る。

博士は西摩路五〇〇號 Ohel-Rachel 教會の宣教士にて、本職は内科醫なるも埃及カイロ市に醫者を開業中英國官憲より壓迫を受けてカイロを退去しバレスタインに歸國後醫者を廢業し、オーヘル・ラツセル派の宣教士となりて宗教生活に入りて今日に及ぶ。

ハルツ博士の實弟カール・ハルツ氏 Karl Hertz 氏は兄と同じく醫者にて醫學博士號を有し現在文路ビースアバートメント二號室に内科醫を開業す。

ハルツ博士のエヂブトカイロ市に於ける英國官憲の壓迫に關する逸話がある（ジュウス・ライフ十五週年記念號の記事に據る）。

ハルツ博士はカイロに醫院を開業中英國官憲の殖民地行政處分を受けたが、原因は博士が政事問題に興味を深く持ちカイロに於ける回教徒が英國に反対して示威運動を行つた際（一九二〇年）回教導師を援助したと言ふ嫌疑を以つて要視人物となつて居たが、偶々チブラルタル流罪地より

放免せられマルセーユ經由カイロに歸國したる回教徒の救世主ザクルルバシャが病氣に罹り難澁して居るに拘らず回教徒の治療を禁止せる英國官憲の冷淡なる非人道的措置に憤慨したるハルツ博士は英國官憲の意に背きてザクルルバシャを治療したる爲め、エヂブト回教徒は狂喜して博士に感謝し、この反動が猛烈なる反英示威行列となつて現れ市中到る所英國兵と群集の衝突となり遂に戒嚴令が布かれた大騒ぎとなり、ハルツ博士は遂に英國行政官から追放處分を受けるに至つた。斯くてバレスタインに歸れる博士は今度は猶太教徒から裏切者扱ひの罵倒を受けることになつたが、回教徒を援助したと言ふ猶太教徒の怨聲を聞き、博士は兩教徒の板挟みとなつて又エチオピア國に逃れたが、此處でも英國官憲から壓迫せられ遂に印度に渡り又上海に醫師を開業する彼の實弟カール・ハルツを頼りて來滬するに至つた。

と言ふ數寄の運命に弄ばれた人である。

【36】シーア・フーパー Charles G. Hooper

住宅 上海共同租界アベニュー路一二一〇號

職業 化學工藝技師

公職 上海留美同學會幹事

米國生れ猶太にて兩親は英國の富豪 Ballard 一族にてニューヨルク市に住す。

妻女はアンダソン・マイヤー氏の娘にて毎年日本に避暑す。



フーバー氏はニューヨルク市に生れ、ミルオキー大
學卒業後陸軍に入り豫備大尉の肩書を有す。彼の両親
は英國猶太にて倫敦の富豪バラード家の一族である。
現在彼は上海四川路二二〇號の英商倫昌漂洗刷花有

限公司（英文名 China Printing & Finishing Co. Ltd.）の染色技師を勤め、同社の重役（倫敦に住す）たる J. Ballard B.S.O. 氏の親類縁故あり信任を受けて居る。妻女は慎昌洋行マイヤー氏の息女にて長男ケンネスは米本國にて教育を受けて居る。

公職として支那人關係方面では上海留美同學會の幹事を勤め米國學校出身の中中國人留學生の世話を焼いて居る。同會會長は米國の上海司法領事、副會長は顏福慶博士にて米國側幹事としてフーバー氏、バツトリツチ氏の二人が選ばれて居る。

【37】ローベート・ハツス博士 Robert Haas (Head of League of Nations (Section Communication)

寫眞は故ハツス博士

博士は一九三二年リツトン卿の秘書として支那滿洲日本の視察に隨行し、二度目には經濟開發



士博スツハ・トーパーロ

【38】ヘルムハ M. V. Hermann



士博スツハ・トーパーロ

合作員となりて聯盟交通委員會より中國に派遣せられ

一九三五年任期満了後歸國して昨年ゼネバに於て病死せり。

住所 エドワード七世路九號
職業 銀行員
勤先 (Finance Banking Corporation Ltd.)
英國籍猶太人にて達商銀行組合事務所に勤む。彼
は印度に生れたと聞くが出生地は不明なり。

【39】トラチテンベルグ Solomon Trachtenberg

住宅 上海佛租界福照路

職業　自動車販賣外交員
勤先　ビールス・モーター・フェデレーション



グルベンテチラト

米國籍猶太人にて、米國の自動車王フォードの工場に勤め、上海のビールス・モーターにフォード販賣人として派遣せらる。

トラチテンベルグ氏は獨逸系米國籍の猶太人にて、現在ビルス・モーター會社のフォード自動車販賣人として手腕を振ひ居れり。氏は昨年同族のボリアク氏の娘と結婚す。氏の宗派は Beth oborom 寺院に屬す。日本人に好感を持ち又スキヤキを好み夫人同伴にて吳淞路に鋤焼を食しに来る。

【40】バーナード・ヘルー Bernard Heller



住所　共同租界西摩路五五〇號
職業　宗敎家
公職　シナゴーグ政務委員
上海猶太學校教員

アラビアン種猶太人にてバルフオアーヘブライ大學の卒

業生なり。

ヘラー氏はヘブライ大學を卒へ上海オヘル・ラツシ・シナゴーグ勤務講法師として赴任し、西摩路猶太學校の教員を兼職す。又シナゴーグ圖書館管理人たり。

【41】猶太人工部局職員會 Jewess S. M. C. Society

共同租界工部局の中に奉職する猶太人にて職員會を組織して事務書記に専任の婦人を雇ひ會務一切を處理せしめて居る。

職員會々長は現工部局警察副總監 Aiers 氏にて會計主任はメーソン警部である。

上の

寫眞は猶太の職員會
が年會を催したる
光景



職員會婦人書記の表
彰式



職業　自動車販賣外交員
勤先　ビールス・モーター・フエデレーション

米國籍猶太人にて、米國の自動車王フォードの工場に勤め、上海のビールス・モーターにフォード販賣人として派遣せらる。



グルベンテチラト

トラチテンベルグ氏は獨逸系米國籍の猶太人にて、現在ビルス・モーター會社のフォード自動車販賣人として手腕を振り居れり。氏は昨年同族のボリアク氏の娘と結婚す。氏の宗派は Beth obrot 寺院に屬す。日本人に好感を持ち又スキヤキを好み夫人同伴にて吳淞路に鋤焼を食しに来る。

【40】バーナード・ヘルー Bernard Heller



ーラヘ・ドーナーバ

住所　共同租界西摩路五五〇號
職業　宗教家
公職　シナゴーグ政務委員
上海猶太學校教員

アラビアン種猶太人にてバルフォアーヘブライ大學の卒

業生なり。

ヘラー氏はヘブライ大學を卒へ上海オヘル・ラツシ・シナゴーグ勤務講法師として赴任し、西摩路猶太學校の教員を兼職す。又シナゴーグ圖書館管理人たり。

【41】猶太人工部局職員會 Jewess S. M. C. Society

共同租界工部局の中に奉職する猶太人にて職員會を組織して事務書記に専任の婦人を雇ひ會務一切を處理せしめて居る。

職員會々長は現工部局警察副總監 Aiers 氏にて會計主任はメーリン警部である。

上の

寫眞は猶太の職員會
が年會を催したる
光景



下は
職員會婦人書記の表
彰式



職員會は一種の社交的集團にて、毎月月給の幾分かを割きて貯金しバレスタイン復興基金の寄附其他慈善事業寄附をなし表面平凡なる職員會の如く見えるが、其の中には秘密結社があり結社の會合をカムフラージして居ると言はれ、ロツチは English Constitution Royal Sussex 570 であると言ふ報告があるが内容不明である。

職員會々長エヤース副總監は工部局警察の全權を握り警務區A、B、C、D四區の總元締の職にあり、其の弟はA區の警務主任である。

【42】ジ ョ ン ス J. R. Jones



住　居　佛租界アベニューヘイグ・アバート四號
ジ　ヨ　ン　ス　元　職　業　辯護士
ス　元　共同租界工部局秘書課長

一ノルド氏の寵兒となり議長の職權を代理する事あり。

ジョンス氏は共同租界工部局秘書課長として市參事會議長アーノルド（アーノルド商會主）氏の信任を受け總ての工部局事務を切廻す勢力を振ひ、事務總長フエッセンデン氏の存在は爲めに無用の長物たるの觀を呈せり。然もジョンスは日本人が大嫌ひと言ふ人物にて、竦腕を振つて猶

太資本家の走狗となり、工部局章程は全く蹂躪せられて永年英國の對支侵略牙城たりし工部局の習慣を柄に横暴を極めたり。

其が爲めに英國人の中からも非難せられ排斥を受けて居たが、遂に一九三六年工部局市參事會議長アーノルドの指令を受け日本人の投票三二五票を放棄して英國側候補の絶対多數を策した所、日本側委員に發見せられ、選舉無効再選舉と言ふ珍無類の不正投票詐術を公衆の前に暴露せられ、其の結果日本側委員より辭職を要求せられ遂に彼は依頼免官の隠退を餘儀なくせられた。

【43】ジ ョ セ ツ フ S. M. Joseph



住　所　佛租界霞飛路一〇八二號
ジ　ヨ　ン　ス　業　株式取引所仲買人
代　理　店　香港株式仲買ジヨセツフ商會上海代理店
シ　リ　ヤ　國　ベ　ル　ト　市　に　生　る。
ク　ツ　ウ　セ　ヨ　ウ　英　國　籍　を　有　す　る　猶　太　人　な　り。

氏は上海に於ける知名の株式仲買商なり。

〔44〕H・カヅリー勳爵士 Sir Elly Kadoorie



アリヅカ・エリエ

住宅 大西路六號

商店 九江路二五九號

氏は一八六五年イラク國バグダッド市に生る。父はサイラス・カヅ

リーと呼ぶ英國籍猶太人なり。

一九一七年英國勳爵士に敍せらる(軍事慈善の功勞により)。國民政府より最高勳章を授けらる。エチオピア國王より貴族に列せらる。

〔45〕ローレンス・カズリー Lawrence Kadoorie



アリヅカ・スンレーロ

カズリー勳爵士の長男
ローレンス・カズリー氏
住宅 大西路六號



アリヅカ・スラホ

〔46〕ホラス・カズリー Horace Kadoorie



アリヅカ・スラホ

カズリー勳爵士の二男
ホラス・カズリー氏
住宅 大西路六號

カズリー勳爵士はイラク國バグダッド市の商人サイラス・カズリーの子として一八六五年バグダッド市郊外クテシオン町に生れ、青年の頃印度支那に移住し又香港に移りE・S・カズ

リー商會を經營し金銀地金株式相場土地賣買を營みて今日の資產を作る。

氏の其の金力を近東、極東に伸展し、利益を割きて學校病院を建設し、佛國、支那より授勳し、又エチオピア國王陛下より貴族に列せられ、一九一七年英國政府より貴族に敍せられたり。現有會社は父子三人にて十七會社を有す。

父
 カヅリー商會
 支那電燈電力會社
 香港建築商事會社
 香港上海土地信託
 香港上海ホテル會社
 香港ロープ會社

ローレンス・カザリー商會

黃浦ドツク會社

長男 香港コンクリート會社

ビーグ電車會社

香港釀造有現公司

ジョセフ商事重役

ハンフレー土地金融會社

レンクロフオード會社

次男 香港九龍埠頭會社

エドガー商會重役

香港電話會社

以上父子三人の事業總本部を上海九江路二五九號に設置して指令して居るが、父は當年七十二歳の高齢に達し、事業は總て長男のローレンスに移譲して自分はセントジョンズ救濟協會副會長或は上海に極東本部を置く猶太民族擁護聯盟常任委員、上海猶太クラブの委員等の名譽職に就任して居る。然し一年以來老弱し英京倫敦ブリンス街六號別邸に歸つて保養しつつある。

尙カザリー家の倫敦屋敷には日下エチオピア陛下御滞在中にて、カザリー氏は御避難中の國王陛下を御氣の毒に思つて自分のブリンス街別邸を提供したのである（昨年六月以來）。

○ イラク總領事ミルフェンデレスキー氏

カザリー氏は上海にイラク總領事館開設に盡力し初代總領事として A. R. Mirfenderski を昨年十二月一日より迎へたり。

【47】カアウフマン G. S. Kaufman



カアウフマン G. S. Kaufman

住 所 佛租界 Rto Voyron 110號

勤 先 ルーター・プロツクルマン商會食品部

アメリカン猶太人にて Reuter Brockmann Co. の食品部主

任にてシャム駐箚アメリカ公使ダビッド・カアウフマン氏の

従弟に當る、科學藥品を專攻す。

カアウフマン氏は北米オハヨウ州に生れ、市俄古の應用化

學専門學校を卒業し上海魯麟食品公司 (Reuter Brockmann Co.) 江蘇路四五二號の科學食品部に就職す。氏は常に同社の廣東シンガポール支店に出張して食料品買込みに就事す。

氏は暹羅國駐劄のアメリカ公使 David J. Kaufman 氏の従弟に當り、上海の會社に就職せるはシャム公使の秘書官 Harry B. Goldstein の紹介なり。



トツビダ
カアウフマン G. S. Kaufman

寫眞はシャム駐箚アメリカ公使ダビッド・カアウフマン氏にてジョウジ・カアウフマンの従兄なり。



ハーリー・ゴールドスティーン氏にてジョウジ・カアウフ
マンを上海に就職せしめたる仲介者である。

寫眞はシャム駐箚アメリカ公使カアウフマンの秘書官

ハーリー・ゴールドスティーン氏にてジョウジ・カアウフ

【48】 カーロイ・ルカイー Shalom E. Levy

住 宅 上海佛租界海格路四〇〇號

營業所 共同租界九江路一一三號

業 務 投資金融、信託、一般商事代理店

英國猶太、兄弟あり弟(S・E・レヴィー)は靜安寺路

一四五五に別に理維商行を經營す。

共に實業界の霸者なり。

レヴィー氏は上海猶太人商社の壯々たるものにて妻は故エドワード・エズラの娘なり。

兄弟三人あり、兄はS・E、二男はS・H、三男はG・F・レヴィーにて、兄弟三人の綜合事務所を



—イヴレ・ムロエセ
合盛洋行

ミーリングトンハウス内に設け三者連絡して商事に専念す。

兄の合盛洋行は金融業、信託業、輸出入、仲立劇場等の外に土地投資會社の株主にて、就中彼の名聲は珈琲王として上海のコーヒー販賣を獨占し支那人間には Coffee King と通稱して居る。合盛洋行の外國代理店次の如し。

1. White Weld Co. New York
2. Tames & Bennet Co. Chicago
3. Oswold Drinkwater Co. Montreal
4. Lewis & Poat Co. London
5. Ray S. Davis Co. Trentin
6. Ellis & Edger Co. Hongkong
7. Langer Co. London
8. Baldwin & Heap Co. Ltd. England
9. Dupont Co. Ltd. U. S. A.
10. Sachsische Kuopf-und Buersten-Maschinen Werke (獨逸)
11. Trao Faiacher Eisen-und Stahlweke (奧大利)
12. Hilaturas Casablanca (西班牙)

合盛洋行支店出張所

支 店 香 港 出 張 所 倫 敦、桑 港

合盛洋行の出資者（合資）氏名次の如し。

- | | |
|--------------------------|-----------|
| 1. V. D. Gansberg | 海格路四〇〇號 |
| 2. Ellis F. S. | 海格路四〇〇號 |
| 3. Ellis E. L. | 海格路四〇〇號 |
| 4. G. T. Yuan | 靜安寺路二三一九號 |
| 5. C. V. Starr | 黃浦灘路千七號 |
| 6. J. O. Pothunt | 大西路一五七號 |
| 7. W. N. Welch-Henderson | 愛文義路一一一〇號 |
| 8. R. Copiman | 海格路四〇〇號 |
| 9. R. H. Chapman | 霞非路一九〇四號 |

レヴィー氏の享樂方面の營業

- | | |
|----------------|-----|
| 佛租界にダンスホール | 二ヶ所 |
| 英租界に 同 | 一ヶ所 |
| 西區エキステンション 喫茶店 | 一ヶ所 |

北區四川路アイシス映畫館

北區四川路虬江路ビーナスダンスホール

楊樹浦提籃橋附近にカフェー店

(以上七ヶ所)

合盛洋行は一般商事は勿論カフェー、ダンスホール、喫茶店迄經營し、惡辣なる商策を弄して金の権化の如き猶太性格を露骨に現し、然も勢力絕倫なる彼等四六時中營業個所を巡回し北四川路虬江路のビーナスホールに迄深更營業狀態を視察に來る外各所の喫茶店に入りてカフェーを試食して廻る等普通の及ばざる熱心振りである。

然し宗教事業に對する寄附金は惜みなく獻金し、シナゴーグの財務委員其他バレスチナ復興基金募集委員となり彼自身の獻金も少なく無い。而して彼は斯の如く諸々の商買を營み又實力を有するに拘らず、支那官邊方面との交渉を持たず、建設材料、化學藥品店の代理店を置くも決して自ら支那側と取引せず販賣店を通じてのみ納入する堅實味を持つて居る。

レヴィー氏の宗派はオーヘル・レアーシナゴーグである。

【49】アレツキス・ライオノヘ Alex Lyons

國際聯盟交通委員會特派中國鐵道交通技術合作員として一九三二年來支せる鐵道技師にて英國籍猶太人なり。氏の職籍は英國の大西鐵道會社工務管理局にあり。



スンオイラ・スキツレア

【50】ラウフオード L. H. Lowford



ドーオフウラ

上海稅關總稅務司

昭和十二年四月二十一日新任

英國猶太、前任上海の稅關長ボール・ブレンゼンの後任として本年四月二十一日就任す。

【51】メヤー R. V. Meyer

住宅 上海大三 Verduin Terr



店 南京路五十二號
メ 職 業 眼鏡及貴金屬商
ヤ アメリカン ジュウ
一 寫眞はメヤー氏夫人と息子
一 夫人は日本が大好きだと云ふ。

メヤー氏はロシヤ系米國猶太人にて南京路に眼鏡商

明昌洋行を經營す（店は猶太人トビアス氏と合資にて經營す）

メヤー氏は猶太人に特有の策謀術數がなく只商賣熱心に營業し大くの日本人得意先を有す。

夫人は毎年日本に避暑旅行をなし大の日本好きにて自宅には日本庭園を作つて喜んで居る、外に時々日本着を愛用し寫眞を撮つて知人に配布して居る、夫婦共に親日的猶太人なり。

【52】ミラー博士 H. W. Miller

住宅 上海共同租界寧國路五〇三號

職業 大學教授
學校 セント・ジョンズ大學醫學部
氏は米國猶太人にて醫學博士

北米合衆國カリホルニヤ州のオークランドに生る。

氏の長男はメアランド軍港附海軍少佐なり。



ミラード博士
ミラード博士は米國籍猶太人にて、現在米國キリスト教會經營のセントジョンズ大學醫學部の教授なり。氏は政治思想に富み、曾つて米國に於て發行せられたる「猶太人の秘密」と題する書籍は著者 Author の匿名にてミラー氏が執筆せるやうであると聞く。

出身校は American Medical Missionary College である。ミラー博士の醫院嘱託次の如し。

Bnai Brith Polyclinic Hospital (佛租界)

Ste Marie Hospital (佛租界)

【53】 ニッシム博士 Edward Nissim

住宅 上海佛租界華助路110號

職業 教會監督

副業 北京路二號に兄弟合資の輸入商を營む。

英國猶太人サウサムブトン市に生れ、同市神學校卒業後倫敦に出でオックスフォード哲學科



ニッシム博士

に學ぶ（日本佛教の研究者なり）

ニッシム博士は上海オーヘル・ラセル教會委員會の招聘を受け教會監督として一千九百二十四年來滬す。

翌年佛教研究観察の爲め渡日し田中智學、林權助、

小谷部博士、美濃部博士、林伯等と會見した事あり文章家にしてエスラエル・メツセンデヤー誌に「猶太に與ふる教書」「猶太精神」等を寄稿して民族團結を説き同族の爲めに氣勢を擧げ居れり、同族人の言によればニッシム氏は秘密結社 Bnai Brith の有力會員であると。

ニッシム博士は本職の外に幾多の公職を有す。

上海ユデア俱樂部の名譽會長

上海ユデヤフエデレーシヨン俱樂部役員

上海猶太改進協會役員
上海マツカビアン俱樂部役員

上海猶太改進協會會員

猶太復興基金管理會會員

アングロ猶太協會會員

等々を兼職す。

商賣方面に於ては兄弟三人の中弟二人は商業に従事し、次弟フレッド・ニッсимは共同租界江蘇路二七八號に義生地產公司を營み、三人目の弟 N. M. Nissim と三人兄弟合資會社を經營する外に天倫有限公司（北京路二號）に關係する等各方面に活動す。又彼の一族の Nissim S. Tawil 是神戸に於て對支、對エジプト、對バレスタインの貿易商を營み居る等ニッсимの名は上海に於て

著名である。



ルウタ・スエ・ムシツニ

寫眞はエドワード・ニッсимの親戚にて神戸に貿易商を經營しつつある Nissim S. Tawil

○ ニッсим氏の日本に對する感情

一九三四年四月エスラエル・メツセンヂヤー誌に掲載せる文章

を要譯するに次の如き事を述べて居る。

「吾々猶太民族は日本の大亞細亞主義に鳴動するを惜しむものでない。日本の亞細亞主義が東亞和平の建設を理想とするならば吾々はこの運動扶助によりて民族復興運動の效果を上げる事を切望する。

而して極東猶太は日本朝野人士が猶太民族に對して抱く誤認を是正して意見の交換を行ふ機會の到來する事を希望する。吾人の最も遺憾に思ふ點は日本人の猶太人に對する政治的な宣傳が

全部陰謀なりと誤解しつつ事である。

極東文化の源泉は東洋に發生し而して東洋に於て實を結んだ。この東洋文化に歐洲文化を聯合せしめる事は吾人の宿命であると信じて居る。

最近三十年間に日本は社會に文化に政治に著しき進歩を遂げた。現在日本は東洋の盟主たるは拒み得ない實力である。この長足の進歩は世界を瞠目せしめ亞細亞及亞細亞人の概念を根本的に覆し、世界人の前に歩武堂々たる偉大なる將來への行軍を開始した。

吾人は密かに想ふ、近世印度の聖人タゴールは十年前に「亞細亞は團結して立ち歐洲文化を啓蒙同化すべきである」と叫び氣焰を擧げて居る。キブリンは「東は東、西は西、相會ふ由もなかるべし」と詠じて居る。が現今では東西兩洋の融合點を見出す事は決して難事でない。

黃色人種は白色人を白眼視し、白色人種は黃色人を冷眼視する。之は直に謎であり了解に苦しむ所である。

余は曾つて渡日し、小谷部博士、美濃部博士又杉村陽太郎氏等と會談して「イスラエルの自由と生存鬪争は決して味方のものなきに非ず」と云ふ歴然たる確信を得たと共に日本精神を知る事を得たが、將來日本は吾民族を排斥し敵視する或る國家と親善融和を結ぶの結果、日本の猶太民族に對する立場は轉換するであらう事を杞憂する」下略

「猶太の極東經濟建國政策は極東の禍者日本との結合により日本の實力を背景に彼等の投資を完全になし日本の動向を敏活に利用する事に於て總ての猶太工作を促進せしめやうとするものであらう」

[54] ポール・エミル・ナザール M. Poul Emil Naggar



ルーザナ・ルミエ・ルーポ

ナザール氏は支那駐箚佛蘭西特命全權大使として初代大使を勤め、支那に赴任以來公私多忙の身を惜まず能く上海猶太居留民の福利公益事業に盡され、同族民は氏の支那にある事を大なる誇りとして新聞に又雑誌に讃美の言葉を盡して居る。

氏は上海猶太自治協會の顧問に就任し又猶太女子青年隊猶太少年ボーイスカウト、猶太少年音樂隊を組織する等幾多の公益事業に盡し同族發展の推護工作に暇がない。

寫眞は上海猶太人ボーイスカウト隊全員の記念撮影なり。



トウカスイー ボ 太 猶 海 上

[55] ジュリアン・ネーサン Julian Nathan



ンサーネンアリュジ

佛蘭西國籍猶太人にて佛蘭西の休職陸軍少佐

ネーサン氏は佛蘭西猶太人、共同租界大同路三號に住し株式取引及仲買商を營む。

氏は上海 Bnai Brith の財務委員にて猶太人の Aut Oze 委員を兼ね、又慈善事業に熱心なる人である。



トウカスイー ボ 太 猶 海 上

【56】ベトーリー R. Petri



ベトーリー

住 所 アスターハウス旅館内

孔士洋行 (Kunst Albers)

勤 先 武器賣込外交員

獨逸猶太人にてデツザウ市に生れ、機械工業の學校を修め Raechling Buderus steel 會社より上海に派遣さる。

ベトリーはデツザウ市工業學校修業後直ちに Raechling Buderus steel work 會社に就職し會社より同社の支那代理店孔士洋行 Kunst and Albert 商會に派遣せられて来る。

商會の中につては中國軍部方面に武器賣込の外交を専門に働いて居る外金物部の賣込販賣を外交し、若年ながら手腕の外交術を有す。

活動家で下宿はアスターハウスである。

【57】オースランダー H. Auslander

住所所及 北京路八十三號
營業 金融業及び輸入業



オースランダー

アラブ猶太人にて英國籍。

金融業を營む、金融の性質は貿易資金の短期貸附け三ヶ月以内の支拂契約である。

オースランダー氏の金融條件は貿易資金の短期貸附けにて、中小商工業者の輸入品船貨證券に對する短期貸附けを行ひ、銀行取引又は資本金無き商店の利便を計り、税關の稅金、船貨陸揚げの立替金にて利息を稼ぐ特種的金貸業である。

【58】ペイサホフ博士 Dr. A. M. Peisohoff

住 宅 上海共同租界靜安寺路七七〇號

職 業 醫 師
出 身 トムスク醫科大學校

露西亞猶太人にて佛蘭西國籍を有す。

共同租界警察部の要視察人にて蘇聯上海總領事スピルボオネフと親交あり。

ペイサホフ醫學博士は露西亞猶太人にて一九一〇年トムスク醫科大學を卒業し皮膚病專門家に



ペイサホフ博士

て醫界の權威を以て自他共に許されて居る。現在共同租界靜安寺路七七〇號に醫院を開業して居るが、Bnai Brith Polyclinic Hospital に於て患者に無料施術を行つて醫學の研究に熱心であるが、租界警察部は注意人物として監視して居る。理由は政治結社員であると云ふにある。

調査の報告に依れば

博士は上海蘇聯總領事スピルヴォネフ氏と親交あり又蘇聯の國際旅行社（四川路六四〇）セリヨーギン等と交際あり、同醫院の材料を納入する中國人蔣保釐は協昌來記公司經營者であるが（店は鄭家木橋街にある）兼て蘇聯食糧輸出組合聯合會（北京路二〇號）と密接關係ある人間にて、從つてペイサコフ博士の思想的動向は赤色方面と關係あるものとの如し。

〔59〕ラムブキン夫人 Mrs. S. F. Rampkin

住 所 共同租界西摩路一七三號（アベート三十一號室）

營業所と 商號 九江路一九〇號 Peacaks and Cheak Co.

英國籍猶太人婦人にてS・F・ラムブキン氏の妻女なり。彼女の姉はアンナ・ジュリアン・ラムブキンと稱し小谷部博士の夫人となる。

ラムブキン夫人はS・F・ラムブキン氏の妻女にして、彼女の姉妹三人あり。一番姉のアンナ・ラムブキンは日本の猶太研究者小谷部博士と結婚して居る。



（寫眞は小谷部博士夫婦）

上海の夫人は次の妹にて、主人は九江路に小さな商店を開き諸製造品の取次販賣並に商談仲立人を營み財政的には恵まれて居ない夫婦である。店はラムブキン氏の外に一人の支那人を使つて居るに過ぎず。

夫人ラムブキンは自分の姉が日本人と結婚して居る事を秘密にして居るが、理由は彼等の社會から嘲笑を買ふ事を恐れて居るが故である、のみならず姉のアンナが小谷部と云ふ異教徒と異人種と結婚して居る事を自分達の信仰の上から非道德であると解釋し、其事が公開せらるる事を恐れて居るが爲めである。上海の猶太人仲間に於ても其の關係を知るもの小範圍にて、故エズラは記者に其の事情を語つた事がある。

尙小谷部博士夫人アンナ・ラムブキンは小谷部氏の猶太研究による「日本の祖先は猶太である」と云ふ日本古事記を英譯してニューヨーク市の書店から発行したが、題名は「日本及日本人的起源」と云ふ "The Origin of Japan and Japanese" である。

右の著書に就て上海猶太協會は小谷部夫妻に叮嚀なる謝狀を贈呈したが、同協會の宣傳委員であつた故 N・E・B・エズラは特に氏と懇親の仲であつて東京に於て會見した事もある。

て醫界の權威を以て自他共に許されて居る。現在共同租界靜安寺路七七〇號に醫院を開業して居るが、Bnai Brith Polyclinic Hospital に於て患者に無料施術を行つて醫學的研究に熱心であるが、租界警察部は注意人物として監視して居る。理由は政治結社員であると云ふにある。

調査の報告に依れば

博士は上海蘇聯總領事スピルヴォネフ氏と親交あり又蘇聯の國際旅行社（四川路六四〇）セリヨーギン等と交際あり、同醫院の材料を納入する中國人蔣保華は協昌來記公司經營者であるが（店は鄭家木橋街にある）兼て蘇聯食糧輸出組合聯合會（北京路二〇號）と密接關係ある人間にて、從つてベイサコフ博士の思想的動向は赤色方面と關係あるものとの如し。

【59】ラムブキン夫人 Mrs. S. F. Rampkin

住 所 共同租界西摩路一七三號（アパート三十一號室）

營業所と 商號 九江路一九〇號 Peacocks and Cheak Co.

英國籍猶太人婦人にてS・F・ラムブキン氏の妻女なり。彼女の姉はアンナ・ジュリアン・ラムブキンと稱し小谷部博士の夫人となる。

ラムブキン夫人はS・F・ラムブキン氏の妻女にして、彼女の姉妹三人あり。一番姉のアンナ・ラムブキンは日本の猶太研究者小谷部博士と結婚して居る。



ラムブキン夫人
アンナ・ラムブキン

（寫眞は小谷部博士夫婦）

上海の夫人は次の妹にて、主人は九江路に小さな商店を開き諸製造品の取次販賣並に商談仲立人を營み財政的には恵まれて居ない夫婦である。店はラムブキン氏の外に一人の支那人を使つて居るに過ぎず。

夫人ラムブキンは自分の姉が日本人と結婚して居る事を秘密にして居るが、理由は彼等の社會から嘲笑を買ふ事を恐れて居るが故である、のみならず姉のアンナが小谷部と云ふ異教徒と異人種と結婚して居る事を自分達の信仰の上から非道徳であると解釋し、其事が公開せらるる事を恐れて居るが爲めである。上海の猶太人仲間に於ても其の關係を知るもの的小範圍にて、故エズラは記者に其の事情を語つた事がある。

尙小谷部博士夫人アンナ・ラムブキンは小谷部氏の猶太研究による「日本の祖先は猶太である」と云ふ日本古事記を英譯してニューヨルク市の書店から發行したが、題名は「日本及日本人の起源」と云ふ “The Origin of Japan and Japanese” である。

右の著書に就て上海猶太協會は小谷部夫妻に叮嚀なる謝狀を贈呈したが、同協會の宣傳委員であつた故N・E・B・エズラは特に氏と懇親の仲であつて東京に於て會見した事もある。

〔60〕 ユウゲン・ロザリオ Eugen Rozario



オリザロ・シングガウ
居所不明
勤先 アーノルド商會電信課
別名 ヤコブ・ロザ

ロザリオは競馬界に於てヤコブ・ロザの別名を通稱して居る。

國際間谍の疑ひあり。

別名ヤコブ・ロザはサツスーン系統アーノルド商會電信課に勤務し競馬狂である。アーノルド氏は自身が競馬狂である爲ロザに馬小屋監督を命じ居るのみならず香港競馬等にはロザを出張せしめて電報を打たせ上海の競馬紳士の賭縛を開帳して居る。

ロザ事ロザリオは同じ競馬仲間のコリンス（米國總領事館副領事勤務書記生）と親交あり、其の關係から米國總領事館のスパイを勤めて居ると云はるが、又英國當局と工部局のスパイであると云はれて居るから、兩道を掛け金儲けを働いて居る國際的諜者の如き人物である。

ロザリオの親密に交際する競馬關係の者は、博勞商マルドホビッチの下に集まる調教師ボボック、チヨイノフ、ソコロフ等のロシヤ人にて、親方マルドホビッチは滿洲蒙古馬の取引を營業し、

附帶任務として博勞を諸所に派遣して滿洲國情調査をなしつつあり。

〔61〕 ロバートソン夫人 Madam Robertson



住 所 上海大西路トエグアパート内
職 業 不明（支那藝術研究者と稱す）
公 職 猶太民族擁護聯盟書記
ロバートソン夫人
出生地 種族不明

國際スパイの疑ひあり

ロバートソン夫人は大西路トエグアパート内に居住するも、彼女の職業不明なり。又彼女の生活費の出所も不明である。本人は中國藝術を研究すると稱し南京方面から地方旅行をするが、行動は頗る疑はしきものあり、國際スパイであらう。

彼女の身柄其他に關し猶太人は語るを欲しないが、何か猶太の特種機關の任務を有するものの如く、公職としては猶太民族の擁護を目的とする聯盟の書記を勤めて居る。

（聯盟は猶太人間各派各宗を問はず猶太人は加入して同族生活の利益向上を擁護する團體であつて、獨逸の反猶に對抗する運動はこの團體が先鋒である。）

[60] ユウゲン・ロザリオ Eugen Rozario



居 所 不 明
勤 先 アーノルド商會電信課
別 名 ヤコブ・ロザリオ

ロザリオは競馬界に於てヤコブ・ロザの別名を通稱して居る。

國際間牒の疑ひあり。

別名ヤコブ・ロザはサツスーン系統アーノルド商會電信課に勤務し競馬狂である。アーノルド氏は自身が競馬狂である爲ロザに馬小屋監督を命じ居るのみならず香港競馬等にはロザを出張せしめて電報を打たせ上海の競馬紳士の賭縛を開帳して居る。

ロザ事ロザリオは同じ競馬仲間のコリンス（米國總領事館副領事勤務書記生）と親交あり、其の關係から米國總領事館のスパイを勤めて居ると云はるが、又英國當局と工部局のスパイであると云はれて居るから、兩道を掛けて金儲けを働いて居る國際的諜者の如き人物である。

ロザリオの親密に交際する競馬關係の者は、博勞商マルドホビツチの下に集まる調教師ボボツク、チヨイノフ、ソコロフ等のロシヤ人にて、親方マルドホビツチは滿洲蒙古馬の取引を營業し、

附帶任務として博勞を諸所に派遣して滿洲國情調査をなしつつあり。

[61] ロバートソン夫人 Madam Robertson



住 所	上海大西路トエグアパート内
職 業	不明（支那藝術研究者と稱す）
公 職	猶太民族擁護聯盟書記
ロバートソン夫人	

出生地 種族不明

國際スパイの疑ひあり

ロバートソン夫人は大西路トエグアパート内に居住するも、彼女の職業不明なり。又彼女の生活費の出所も不明である。本人は中國藝術を研究すると稱し南京方面から地方旅行をするが、行動は頗る疑はしきものあり、國際スパイであらう。

彼女の身柄其の他に關し猶太人は語るを欲しないが、何か猶太の特種機關の任務を有するものの如く、公職としては猶太民族の擁護を目的とする聯盟の書記を勤めて居る。
(聯盟は猶太人間各派各宗を問はず猶太人は加入して同族生活の利益向上を擁護する團體であつて、獨逸の反猶に對抗する運動はこの團體が先鋒である。)

夫人は美貌の持主にて美人を種に外國の機關に接近して國際的スパイを働いて居る形跡あり、露語、佛蘭西語に精通し人に教へて居た事があると云はれて居るが、警戒を要する女性である。

【62】レイス・ロツス Sir Fredrick Leith-Ross



ス ツ ロ・ス イ レ

寫眞はビクター・サツスーン卿のレイス・ロツス卿送別會に於ける夫妻である。

ロツスに就ては記事省略す。

【63】ビクター・サツスーン卿 Sir Victor Sassoon

住宅 南京路一號サツスーンビルディング内
營業所 右 同



ンスツサ・ータクビ

別宅 共同租界西區大西路

英國猶太人、一八八三年英國ヨークシャに生る。

殖民事業に功あり英國貴族に列せらる。

ビクター・サツスーン氏は英國ヨークシャ市の猶太富豪（アフリカ殖民地の成功者）マイヤース・サツス

ーン氏の子にして、彼の母はエー・レヴィー氏の娘である。（妹娘はエ・エム・ガッペー氏と結婚す）ビクター・サツスーン氏の妻はエ・エム・ガッペー氏の娘にて一九一一年香港の實業家レイモンドの媒介にて猶太教オヘル・レーイ寺院に於て結婚式を挙げたり。如斯き同族近親結婚は猶太人が異教徒との結婚を忌避する爲めにて、殊に上層富豪階級に於て同族結婚の故に皆姻戚關係にある。

ビクター・サツスーンは香港の巨豪 Raymond 家、印度の富豪 Cohen 家、上海 E. D. Sassoon 等皆姻戚關係にあり、從つて事業も資本も皆彼等の Corporation から出て居る。

ビクター・サツスーンは千九百三十年印度の事業と資本を回収して本據を上海に移動し來り、南京路の入口に立つ高樓サツスーンハウスは實に彼等の策動本部である。

ビクター・サツスーンは印度香港に事業を營むと同時に上海に於ても早くより土地賣買、金銀地金、信託、輸出入商、金融業を營み、其等の事業は David Sassoon & Co. 名儀にて營業し

夫人は美貌の持主にて美人を種に外國の機關に接近して國際的スパイを働いて居る形跡あり、
露語、佛蘭西語に精通し人に教へて居た事があると云はれて居るが、警戒を要する女性である。

【62】レイス・ロツス Sir Fredrick Leith-Ross



ス・ツ・ロ・ス・イ・レ

寫眞はビクター・サツスーン卿のレイス・ロツス卿送別會に於ける夫妻である。

ロツスに就ては記事省略す。

【63】ビクター・サツスーン卿 Sir Victor Sassoon

住宅 南京路一號サツスーンビルディング内
營業所 右 同

別宅 共同租界西區大西路

英國猶太人、一八八三年英國ヨークシャに生る。

殖民事業に功あり英國貴族に列せらる。



ビクター・サツスーン卿

ビクター・サツスーン氏は英國ヨークシャ市の猶太富豪（アフリカ殖民地の成功者）マイヤース・サツスーン氏の子にして、彼の母はエーレヴィー氏の娘である（妹娘はエ・エム・ガッベー氏と結婚）。ビクター・サツスーン氏の妻はエ・エム・ガッベー氏の娘にて一九一一年香港の實業家レイモンドの媒介にて猶太教オヘル・レーイ寺院に於て結婚式を挙げたり。如斯き同族近親結婚は猶太人が異教徒との結婚を忌避する爲めにて、殊に上層富豪階級に於て同族結婚の故に皆姻戚關係にある。

ビクター・サツスーンは香港の巨豪Raymond家、印度の富豪Cohen家、上海E. D. Sassoon等皆姻戚關係にあり、從つて事業も資本も皆彼等のCorporationから出て居る。

ビクター・サツスーンは千九百三十年印度の事業と資本を回収して本據を上海に移動し來り、南京路の入口に立つ高樓サツスーンハウスは實に彼等の策動本部である。

ビクター・サツスーンは印度香港に事業を營むと同時に上海に於ても早くより土地賣買、金銀地金、信託、輸出入商、金融業を營み、其等の事業は David Sassoon & Co. 名儀にて營業し

來りたるが、千九百三十年事業本部を上海に移動し來ると同時に別個に Sassoon Banking Corporation を創設し、E. D. Sassoon Co. David Sassoon Co. と共に三大サツスーン會社を統制下に置きて資本總額三十億弗を擁して各種の事業に從事す。其の陣容次の如し。

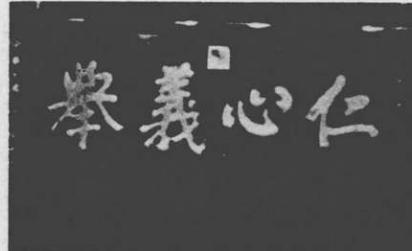
- (I) サツスーン バンキング ロボノーシヨン
- (II) ダビット・サツスーン コムベニーリミテッド
- (III) イー・デー・サツスーン コムベニーリミテッド

【6】(I) Sassoon Banking Corporation Ltd.

金融組合にて、中國政府建設事業或は印度香港新嘉坡南洋其他の銀行取引關係を營業範圍に置き、國際取引機關として英米財團と連絡す、中國の貨幣改革、銀地金取引、中國建設事業に対する貸款、中國公債割引、中國農工商投資或は對支輸出信用保證局の肩替り等を引受け、中國を金縛りにして搾取せんとする猶太財閥の參謀本部である。

寫眞は國民政府がサツスーンの財政的援助に感謝を表せる蔣介石の贈り物である。

この策動本部の元締はE.D.サツスーン翁にて、事實上の取



引はビクター・サツスーン氏の掌中に行はれ、總てを代表する人物である。

代 表 者	ビクター・サツスーン Victor Sassoon
總支配人	デビイー F. R. Davey
支配人	マックエwan A. K. MacEwan
支配人	ミーゲル C. J. Meager
支配人	バラモル A. L. PaRamor
支配人	オヴァアデア L. Ovadea
秘書長	イジケール J. H. Ezikiel
副支配人	スマス・ライト E. G. Smith Wright
會計主任	ブライテン W. A. Bryden
社 員	イゼリング頓 J. B. Etherington
"	ブロキザップ I. S. Broxup
"	ランバード W. R. Lambert
"	ピーアソン W. P. Pearson
"	インネス D. C. Innes
"	グレゴリー N. S. Gregory

社員	ジョセツフ	R. Joseph
"	スミス	F. E. Smith
"	ウイルソン	J. B. Wilson
"	コーヘン	A. S. Cohen
"	カスター	A. S. Casta
"	ヤコブ	M. Jacob
"	ウイリアムソン	H. Williamson (Miss)
"	チースマン	J. M. Cheesman (Mrs.)
"	スミス	B. E. Smith (Miss)
"	ブロック	E. W. Block (Miss)
"	ソロモン	R. Solomon (Miss)
"	スマス	B. Smith (Miss)

[65] (1) David Sassoon Co.

本社は九江路二五九號に事務所を有し、サツスーン財閥の上海市内に於ける不動産を管理す。社務は主としてレビース、ベンジャミンの11人が擔當して居る。

上海に於ける洋式借家は英租界、虹口、楊樹浦方面の大部分を所有し、アルガー商會等は其の

傍系代理店である。其の不動産は十五億元に上るゝ稱せられ、土地部銀行部對外國際銀行部併せて三十億弗の財產を有す。

營業所 江西路二五九號

總支配人	ダビット・サツスーン	David Sassoon
副支配人	レヴィス	L. A. Levis
社員	ヤコブ	S. O. Jacob
"	カールソン	H. L. Carson
"	コーン	S. S. Cohen
"	ベンジャミン	S. Benjamin
"	ホーマン	S. F. Eamander

(以上土地賣買、貸家、信託部)

[66] (1) E. D. Sassoon & Co. Ltd.

サツスーン商會は、(1)は國際金融投資を主なとし、(1)はサ團の不動產管理を中心とし、(1)は即ちサ團の極東に於ける彼等の各種事業を統轄する本部である。(1)(1)共に「アンクル・サツスーン」E. D. Sassoon 爺が總大將で、副將格にビクター・サツスーンが活躍して居る。

營業所 サツスーン・コーポレーション同所

營業銀行部

總支配人	イー・テー・サツスーン	E. D. Sassoon
銀行組合員にて支配人	デビ	F. R. Davey
"	マツクエワン	C. K. MacEwan
"	ミーゲル	C. K. Meager
"	スミス・ライト	E. G. Smith Wright
財產管理主任	ラムバート	L. Overdea
副支配人	オバティア	W. R. Lambert
會計主任	ブライデン	W. B. Bryden
社員	エザリングトン	J. B. Etherington
"	トリビューン	C. Triuburn
"	バツターリツデ	G. P. Butteridge
"	ケンダール	F. Kendall
"	ステード	I. Stead (Miss)

以上は印度、香港、上海の事業金融部、他に支那人社員二十六名あり。

以上三個の會社はサツスーン財閥の直系機關にして三社併せてサツスーン財閥を構成して居る

のであるが、此等三社から成るサツスーン財閥事業を總括する總本部は英京倫敦ブリッジ街にありて、ヨークシャの富豪でサツスーンの總本家であるマイヤース・サツスーン家が總理し、マイヤース・サツスーンの嫡流としてE・D・サツスーン翁(七十四歳)は總元締に任じて居る。

寫眞は英國ヨークシャサツスーン本家の嫡流E・D・サツスーン氏。彼はもと佛蘭西にあり帝政ロシヤ時代露都に活動し又アフリカ殖民地にも活動す。

サツスーン財閥は以上三社の外に辦事處を佛蘭西巴黎とジュネーブに設置し、巴里は獨露關係の仲繼機關に、ジュネーブは國際聯盟の仲繼に、其の他に米國猶太財團との交渉は粛育のナショナルシテーベンクを指定して居る。故に上海のサツスーンハウスの機關はサ財團の極東事業本部と云ふ事になつて居る。其の元締がE・D・サツスーンであり、ビクターは其の副將である。

【6】ソラーブール Dr. De Sola Pool

住宅 共同租界靜安寺路ジョツキーアベート内
教授 東吳大學法學部

營業銀行部

總支配人	イー・デー・サツスーン	E. D. Sassoon
銀行組合員にて支配人	デビー	F. R. Davey
"	マツクエワン	C. K. MacEwan
"	ミーダル	C. K. Meager
"	スマス・ライト	E. G. Smith Wright
財產管理主任	ラムバート	W. R. Lambert
副支配人	オバテア	L. Overdea
會計主任	ブライデン	W. B. Bryden
社員	エザリングトーン	J. B. Etherington
"	トリビューン	C. Triuburn
"	バツターリツデ	G. P. Butteridge
"	ケンダール	F. Kendall
"	ステード	I. Stead (Miss)

以上は印度、香港、上海の事業金融部、他に支那人社員二十六名あり。

以上三個の會社はサツスーン財閥の直系機關にして三社併せてサツスーン財閥を構成して居る



D. E. Sassoon

のであるが、此等三社から成るサツスーン財閥事業を總括する總本部は英京倫敦ブリッジ街にありて、ヨークシャの富豪でサツスーンの總本家であるマイヤース・サツスーン家が總理し、マイヤース・サツスーンの嫡流としてE・D・サツスーン翁(七十四歳)は總元締に任じて居る。

寫眞は英國ヨークシャサツスーン本家の嫡流E・D・サツスーン氏。彼はもと佛蘭西にあり帝政ロシヤ時代露都に活動し又アフリカ殖民地にも活動す。

サツスーン財閥は以上三社の外に辦事處を佛蘭西巴里とジュネーブに設置し、巴里は獨露關係の仲繼機關太財團との交渉は紐育のナショナルシテーバンクを指定して居る。故に上海のサツスーンハウスの機關はサ財團の極東事業本部と云ふ事になつて居る。其の元締がE・D・サツスーンであり、ビクターは其の副將である。

【67】ソラーピール Dr. De Sola Pool

國籍獨逸

獨逸ケムニツツの生れにて猶太人の法律學者なり。
目下東吳大學法學部の教授たり。



ループラソ

【68】ソロフ A. A. Sokoloff



フロコソ
露西亞系猶太人 Fagan 商會に勤む。
氏の經歷其の他不明なり。

【69】サルモン J. E. Salmon

住 所 共同租界西摩路一七三號
職 業 カヅリーセ商會支配人



英國籍猶太人にてケンブリッヂの卒業生、カヅリー
商會の番頭として財產管理をなす。

法律事務所江西路二五九號

カヅリーセ商會支配人サルモン氏は Elly Kadoorie 動
モ
爵士及び彼の子息 Lawrence Kadoorie (次) Horace
Kadoorie (弟) 等三人共同の金融、信託、金銀地金を
商々 Kadoorie & Sons Co. の營業並に財產を管理し、別に香港に於て創立せる兄ローレンス・カ
ヅリーのコンクリート製造株式會社の上海代理店其の他幾多猶太資本會社の株券を有する保管事
務を取扱つて居る法律家である。

【70】ヘンゼル・サント Philip Angelo Sante



テンザ・ロゼンバ
住 所 佛租界 Rte Massenet 116號
職 業 造船技師
勤 務 江申ドック(上海南市)
(Franco-Chinoise de Constructions Metaliques et
Mécaniques)

佛蘭西籍猶太人にて巴里の造船専門學校を卒業す。勤先支那名は上海中法求新製造廠。

ヒリツブ・アンゼロ・サンテ氏は巴里の造船學校卒業後北米合衆國ノーフォーク港造船所に實地勤務、傍らヴァージニヤ州立工科大學に遊び在學中は猶太學生 Bnai-Brit Hillel Foundation の幹部として同族民間に知られ南區委員に擧げられた事あり。妻女はノーフォーク市の辯護士の娘なり。

〔71〕 ソフィア・トエゲ夫人 Mrs. Sophia Toege



人夫グエト・アエフソ

住 所 上海越界路大西路四五號

財産管理

公職 上海サイオニスト協會會長

上海猶太避難民救濟會會長

パレスチイン復興基金管理委員会

新嘉坡益善公司

卷之三

千八百八十五年エルサレムに生る。英國籍猶太人にて財産百萬と稱す。

各種の事業に關係し、上治同族人間に名望ある貴族類の三類の指掌。

工場、或は旅館等就中モダンアパートメントを數ヶ所に建築し上海のアパート王と稱せらる。

本宅は大西路四十五号トエグアバートの一部にあり。別宅を威海衛路七五四號に有す。外に夫 Edward へつ才董と音習する患事務所をセントラルアケド十七號十九號に有す。管理事務は全部

Toeg 氏に一任し、夫人自らは關係團體の事業に没頭す。

上海を往復する事十回に及ぶ。

一九三三年獨逸に猶太排斥運動勃發し同族人の避難民救濟機關として上海に救濟委員會を組織し、翌年四月夫人は英京倫敦に赴きて獨逸より避難する者の救濟手配を致し二千噸級の伊太利汽船をチャーターして回航せる等活動目覺しきものがあつた。夫人の手に救はれたる避難民は實に八萬人に上ると云はる。

其他支那に對する夫人の救濟事業は顯著なるものありと認められ、民國二十五年の革命二十五週年記念として國民政府は夫人に大型の記念額を贈つて表彰した（猶太人にて之を受けたるもの

ピクター・サツーン卿とトエグ夫人の二人なり)

註 トエグ夫人の大西路アパート内に共産黨の指令本部が秘設せられて居るとの説あり、蘇聯人が多く居住す。

[72] エムマー・トラチテンベルク嬢



娘 クルベンテチラト・エマム

上海住所 上海租界福照路の兄の家
兄 上海ビルスマーター會社フオード自動車
販賣員 アメリカ猶太、巴里に在學中畫家 Nathan Katz と
結婚し、夫妻揃つて支那に繪畫行脚に來り兄の家に
滞在中である。

[73] トーマス・タルーフ Thomas Turoot



住 所 共同租界靜安寺路七七八號
勤 先 カツセー・コムマー・シャル・コムベニー¹
行 動 國際間諜の疑ひ濃厚なる人物



フルカ・スマート

ボーランド猶太人にて國籍不明、猶太人社會に出入せず、

日本語を話す。

タルーフ氏はアーノルド商會系統にあるダブリシマン支配
下にある華懋洋行 Cathay Commercial Co. の外交員を勤め

あり、日本語を話す猶太人であるが、當人に就ては猶太人間に知られて居ない。世評によれば彼
は國籍不明なるもロシヤ語が本國語なる如く從つてロシヤ生れ猶太人ではないかと噂さる。

然も彼の容貌は昨年十一月東京警視廳外事課より國外退去處分に附せられたる國際スパイ人物
トーマスに酷似し居り、或は日本退去後上海に於て前記の店に勤めて居るものでないかと思はれ
素性不明の不審人物である。

華懋洋行支配人 Dobrishman はアーノルド資本の傍系にて、主として蘇聯の對支ダンビング
品を專賣しつつある外に日本北海道方面の鹽魚を取引すると稱して北海道に旅行した事あり。

當時日本當局に於て注意を受けて居た人物である。故に前記トーマス・タルーフは日本を退去
せられたる國際間諜と同一人物でないかと思はる。

[74] ウィルケルミニ N. A. Wilgenmin

住 所 上海佛租界 Rte de Pieyers 11111 號



ニミングルイウ

勤先 上海電力會社
職業 電氣技師

露西亞スヴエルドロフスク市生れ猶太人、現職上海電力會社職員にて Bnai Brith ロシヤ人口ツヂ七一

一號の書記なり。

ウイルヘルミニン氏は露西亞ウスル山脈金鑑區スヴエルドロフスク市に生る。父は礦山技師にて革命避難民として來滬す。氏はウファ電氣工業學校に學び學業中途にして追はる。

現職上海電力會社職員（技師）にて同社内に在勤する白系露人職員會の主事を勤めて居る。

氏は白系露人の組織する幾多團體の中に加入せしむるが爲めに一部の者より蘇聯派の如く惡口せられたが、同氏に領導せられて居る電力會社白系職員會の同志とは常に防共問題を中心て討論を續けて來たが、最近奉天に組織せられたる防共委員會或は新京白系露人ファシスト黨等に刺戟せられ、上海支部のダニーロフ・カルガノフ等と談合して上海に有力なる白露人の防共聯盟を組織して日獨防共協定の側面支援運動を起さんとする團體發起人となり、電力會社職員會の V. I. Radevkin Kostrotnetinoff of Costor Jain 等を加入せしめ、露西亞亡命委員會の闘士を指導して具體的行動を計畫し共同租界太沽路四五〇號に發起人會を開いた。

（準備會に出席せるもの次の如し）

(1) N. Daniloff

新京白露人ファシスト黨上海支部主任にてアーノルド氏經營の上海自動車學校の教頭を勤む。元露西亞陸軍大尉、住所は Tunsin Rd 1100號

(1) V. V. Karmiloff

共同租界工部局衛生課員にて佛租界 Rte Remi 1100號に住す。

(1) E. Fretzendorff

佛租界工部局警察部に奉職し佛租界 Rte Remi 1100號に住す。

(4) E. Fretzendorff

佛租界 Rte Mayen 171號

ベレスホテル内

不 明

上海電力會社内

(7) A. Wilgelmimin

同 上

(8) O. F. Costor Jain

同 上

(9) Kaotronetinoff

同 上

(十) V. I. Raojevin

同 上

(以上十名)

調査によれば該聯盟は活動資金の財源を求むる事困難にて何等具體工作は進行して居ないが、右の發起に對し郵務總局技師 Missuro は次の如き感想を述べて居ると猶太人アブラ公商會主は記者に物語つた。

「防共聯盟の組織が事實であるならば人類の幸福である。然し發起者の中には聯蘇方面の人物も混つて居る様に云はれ反赤露主義に擬裝して防害工作を畫策するものでないかとの疑がある。これは蘇聯が上海の有力なる白露人社會の經濟力發展の將來に對する破壞工作の一部として凡ての露人團體の中に分子を潜入せしめ、其等の潜入者は諜報エゼント乃至は破壞工作者として白露工作の防害を謀つて居る事實があるから、直ちに防共聯盟を信用する事は危險が伴ふであらう。其の中メルニツク、フレツヅドルフ等は可なり噂さのある人物で、又佛租界局警察の Vostchenko 等は赤露諜報者であるとも云はれて居るから、この防共運動の發起は寧ろ逆用される結果に終るものと見て差支へなからう」と。

〔75〕 マツクス・ゼイロンカ Max. Zellonka

住 所 佛租界福履理 Joseph Freelp 路六號



カソロイゼ・スクツマ

職 業 ブナイ・ブリス極東通信局

マツクス・ゼイロンカ氏は米國籍猶太人にて、千九百三十五年米國紐育ブナイブリス出版本部より上海に派遣せられ極東通信局長となり、機關誌の中華通信及び調査に從事す(フリーメーソン結社員)。

マツクス・ゼイロンカ氏は佛租界福履理路六號に住す。氏の事務所は同所内にあるものと推測せらるが確實なる所は不明である。

氏の任務は米國シンシナチー市に本部を有する米國 Bnai Brith 結社の機關誌ブナイ・ブリスマガジンの極東局通信員として上海に派遣せられ、通信調査に從事して居るが、本質的任務に就ては不明である。ブナイ・ブリス誌は米國紐育ブナイ・ブリス出版部より月刊にて發行し會員に配布するものであるが、會員外の者は年五十仙(一部五仙)を支拂つて配給を受け得る。上海にも多數取次せられ南京路アメリカンブックストアに申込めば配達するが、工部局警察特政課では同誌の内容が赤化思想、政治的陰謀等の記事多く、租界治安の維持上發賣を取締つて居るが、市中には可なり多數の購讀者を有して居る。

ブナイブリス誌は編輯本部がシンシナチーエレクトリックビルディング第七號にあり、出版部はニューヨークになつて居るが實際の出版賣出は市俄古南クリントン街一一八號から發賣されて

居る。

本誌は一九一二年八月廿四日發刊しシカゴ政廳に登録され一九一七年第三種郵便物許可を取り一九二〇年に改版一九二四年に第二種郵便物許可を取つて居る百五十頁内外の月刊誌である。

【76】ヤコブ・ジリンスキー Jacob Zirinsky



住 所 共同租界福州路八十九號
營 業 所 右 同
公 職 猶太居留民教育委員會委員

英國籍猶太人にて生地はハンガリヤ國のデフレツチ
ン市である。アデンにて英國市民に登記す。

ジリンスキー氏は匈牙利國に生れ幼年にして父と共に英領アデンに移住す。彼は此處にて英國市民權を獲得す。

氏は現在上海福州路に個人經營の紙類輸入販賣店を營み居れり。

氏の長女ジユダは上海猶太中學部を卒業し昨年八月香港に赴き目下香港醫科大學豫科在留中なり。

上海猶太人間に評判の美人でピアニストの天才にて慈善協會の寄附金募集演奏に出演し音樂界

に知名である。

父ジリンスキー氏は猶太居留民教育會の委員にて同族民の教育に盡し上海にヘブリュウ大學を建設すべく奔走中である。

(猶太人は小中學校は上海に於て教育するが決して他の學校に入れない。大學は特別の希望に限り香港大學に入學せしむる外大抵バレスチナに送つて教育する習慣がある。目下同族人間には極東の適當の地に大學を建設して猶太子弟最高教育機關を設立する爲め基金募集中である。候補地は上海かマニラであると。)

寫眞は香港醫大豫科に勉強中のジユダ・ジリンスキー



娘キスンリジ・ダュジ

附 錄 其一

○英國政府を囲る猶太色彩

首相 ネヴィル・チエンバーレン

ネヴィルの父は猶太人のお蔭で出世をし、其の謝禮として彼は、英國の移民が東アフリカに於いて他に自由地を獲得せず、入國に當つては保證金を納めなければならない時代に、東アフリカ内の貴重なる自由地を猶太人のために提供した。ジョゼフ・チエンバーレンの叔母は猶太系(アンドレード)であり、彼自身も亦た母系(ハーベン)より猶太の血を受けてゐるものと信じられてゐる。オーステン・チエンバーレン卿は猶太人仲間よりは眞の猶太の戦士として尊敬されてゐる。

國會議員 ジヨン・シモン卿

一九〇四年に逝去した猶太人ジヨン・サイモン卿と混同し易いが現在のジヨン・サイモン卿は全く猶太の血の混らないアリアン系であると公言してゐる。彼の夫人は、自ら猶太系でないと主張してをりながら、長い間シオニスト運動に關係してゐる。彼女は猶太人の會合で、シオ

ニスト運動に熱心なために「妾はみなさんと同族と見られてゐます」と話した。

猶太人銀行家エル・フランクリン卿（ケーベー商會）と非猶太人の婦人との結婚式（一九三〇年七月八日）にジョン・サイモンはシナゴーグに出席した。ソ聯の大使猶太人マイスキイは一九三五年二月二十二日にサイモン卿のために晩餐會を開いた。ジョン・サイモン卿は毎も猶太人と交友し、彼の顔も猶太的であり、其の點非常に難解である。

最高院議長 ハリファツクス侯爵

彼の嗣子はロスチャイルドの孫女と結婚した。

尚書 ヘールシャム侯爵

彼の弟、マルコルム・ホッジ卿は猶太人のゴンバーツの孫女と結婚した。

侯爵の終身秘書役は猶太人のクロード・シャスター卿である。

内務卿 サミニユル・ホーア卿

クエーカー銀行の家族の一員であり、「第四の封印」の著者である彼は、猶太禍については早くから悟つてゐるのである。然るに彼が其の同僚に猶太禍について語らなかつたのは何故であ

らうか、彼のみぞ知る。

彼の議會書記は猶太銀行ハンボスの頭取の甥ダブリュー・ダブリュー・アスターである。アスターの母は倫敦の猶太銀行ラザードの頭取オノラブル・アル・エチ・ブランドの姑である。

外務卿 アンソニイ・イーデン

イーデンは波蘭系のフランセス・シャファルツキイの孫である。彼はロスチャイルド家とフイリップ・サツステーン卿と親交がある。

隠匿猶太人モ里斯・ハンケイの息子は彼の副秘書である。イーデンは二人の議會書記をもつてゐる。一人は猶太人バーナル・オスボルンの孫を娶つており、ソ聯の猶太大使マイスキイより恩恵を受けてゐる。

國璽卿 テ・ラ・ワア公

P・E・Pの市場掛に密接な關係を持つてゐる。

自治領卿 マルコルム・マクドナルド

獨身の彼の父ラムゼイは長い間猶太美人ローザ・ローゼンベルグを私的秘書として雇つてゐる。

マクドナルド父子は共に猶太人シツフのP・E・Pに密接な關係を持つてゐる。一九一七年に赤露の例に倣ひ労働者を困窮せしめたのはラムゼイ・マクドナルドである。

マルコルムの次官はハーティングトン子爵である。子爵はアライアンス保険會社の經營のために猶太人口スチャイルド及びペアステッドと關係した人物である。其の上、子爵はスコットランド系のフリー・メーソン結社員であり、一九三六年に猶太財團の資金に依つて開催された博覽會の行政委員の一人であつた。

印度ビルマ大臣 ゼットランド子爵

子爵は有力なフリー・メーソンである。彼の夫人は皇帝戴冠式接待宴に當つて猶太女イー・ジユダなるものを紹介した。

彼の次官はスタンリー卿であり、スタンリーの妹はロスチャイルドの子息と結婚した。次官助手は猶太人セシル・キツシユ卿であり、スタンリーの顧問として猶太人エチ・ストラコツシユがゐる。

植民卿 ダブリュー・オームスピイ・ゴーア

熱心なるシオニストである。グランボーン伯爵とハーティング侯爵夫人との義弟である。此

の全家族は猶太人専横の支配的階級に屬する。

国防大臣 テイ・インスキップ卿

辯護士。帝國國防委員長は隠匿猶太人エム・ハンケイ卿である。卿の曾父は一八一六年に本名アラースからハンケイと改名し、ジャマイカの奴隸所有地の抵當權者であつた。

海軍卿 エー・ダツフ・クーバー

ロシア革命に資金に提供したクーン・ロエブ會社の重役、故オットー・カーンはクーバーの息子の名附親である。彼の祖母の名はステインと云つた。またクーバーの妹は猶太人のレヴィタと結婚した。

ダツフ・クーバーの議會書記はシツフP・E・Pに熱心なエチ・ダブリュー・ケーアである。

陸軍卿 エル・ホア・ベリシヤ

猶太人。英國と獨逸との關係を考慮しての任命であるから注意を要する。次官はトレーディング・カンバニイとヘルバート・ワツグ商會との店主の弟のストラスコナ卿である。ヘルバートの本名はイスラエルである。

会計主任はヴィ・ワレンダー卿であり、その私的秘書は猶太人ノイマン家と結婚したアル・ヴィ・グリムストンである。

空相　スウェントン伯爵

彼の財産は結婚に依つて轉げ込んだ。彼の夫人はマシヤム男よりジョゼフ・メイヤーの財産の一部を相続したのである。

彼はサツステーン家やシオニストの首領故ナホム・ソコロフより恩恵を受けてゐた。

次官は長い間フリツブ・サツステーン卿であつたが、最近エー・ジエー・ムアヘッド中佐と更迭した。

スコットランド卿　ダブリュー・エリオット

猶太人モーゼス・シツフのP・E・Pの最初の創立者の一人である。

富易大臣　オリヴァー・スタンリー

彼の姉はロスチャイルドの子息と結婚した。一九三三年一月に白耳義から避難したものであると陸軍官憲を騙したアーネスト・シツフをクーン・ロエブのシツフ家の一員であると曝露し

たのはスタンリーである。

彼の議會係次官は親猶家のラティエンス夫人の娘と結婚したデイ・ユアン・ワレス大尉である。

主席經濟顧問は問題の人猶太人エフ・ダブリュー・リース・ロス卿である。彼は國際金權の支持者である。

議會書記兼鑄山係エフ・シー・クルツクシャンク大尉はスコットランド系のフリー・メーソンである。

農漁業大臣　ダブリュー・エス・モリソン

猶太關係の人物。辯護士。

文部卿　スタンホープ公

英國フリー・メーソン大結社前大頭梁の未亡人アムブ・シル夫人の從兄である。

議會書記は猶太人モーゼス・シツフの秘書と、そのP・E・Pの書記を勤めてゐるケネス・リングセイである。リングセイは嘗つて南米エル・ドラドに英人の植民を獎勵した猶太人シユウエルムのヴィクトリア植民會社の書記も勤めたことがある。リングセイの私的秘書役はテルマ・

ガザレット姫である。彼女の兄は熱心なシオニストの代議士である。

衛生大臣 キングスレー・ウッド卿

一九三七年二月二十三日マンチエスターに於いて彼は猶太人を以つて最も頼もしき民族と言ひ、英國民は常に此の民族と共に存したき希望を述べた。P・E・Pの小賣標準會ではウッド卿は猶太人エフ・マークイス卿を強力支持してゐる。

キングスレー・ウッド卿は自らの聲明を實行する。そのためには議會書記として猶太人アル・エチ・バーネーズ、副書記として猶太人エル・インフィールドを活動させてゐる。

勞働大臣 イー・ブラウン

ソ聯の大使猶太人マイスキイから恩恵を受けてゐる。彼の主任書記は猶太人のハンバート・ウォルフである。

運輸大臣 イー・エル・バーゲン博士

猶太人であるか否かは不明であるが、バーゲン或はバーカンは猶太名である。議會書記のエー・ニー・エム・ハドソン大尉は非常に親猶太的である。

土木委員長 フィリップ・サツスーン卿

猶太人である。母はロスチャイルド家の出身である。

恩給相 エチ・ラムスボサム

ラムスボサムは猶太女デ・ステインと結婚した。彼の終身秘書アデーラ・ホア卿は陸軍卿猶

太人ホア・ベリシャの繼父である。

ランカスター公宰相 ウィンタートン公

一九三五年五月七日下院に於いて彼は彼の祖先に猶太人があつたか何うかは知らぬが、若しあつたとすれば誇らしいと述べた。

選信大臣 ジー・シー・トリヨン大佐

彼の顧問として、猶太人で、シオニストの先覺者である貯蓄銀行の取締役エル・シモンを任命してゐる。

—インペリアル・ファシストに依る—

○米大統領ルーズベルトと其の取巻き猶太人達

(一九三七年一月)

最近米国人エドモンドソンに依つて米大統領ルーズベルトの系図が発表された。又昨年十月十五日發行リヴィーラー誌にも同様の發表があつた。之に依つてルーズベルトが猶太系である事が明らかにされた。

其れは儲ておいて、ルーズベルトの取巻きが猶太人で占められてゐる事も衆知の事である。

猶太人の圓體、猶太人會等に對して祝福の公電を彼が送つて居る事實も廣く知られてゐる。

彼の取巻の中の第一の有力者は米國の事實上の大統領とも云はれる猶太人バーナード・バラクである。大戰中にウイルソンは彼を米國經濟の最高獨裁者に任じた。彼はウォール街の立役者である。次に有力なのがNRAの會長代理であり、獨逸の社會民主黨の創設者ベルゲルの名付け父である猶太人ドナルド・アル・リツチバーグである。次の有力者は塊太利生れの猶太人フェリツクス・フランクフルター教授である。彼は大統領の首席法律顧問であり、ハーバード大學に於けるマルキスト教授として令名があり、物價法の創案者である。彼は共產黨關係の「米國市民自由権同盟」

の會員であり、一九二七年には死刑の宣告を受けた猶太共産黨員サツコーとヴァンゼツチとの辯護人であった。

大統領ルーズベルトの右腕は大統領の非公式の顧問たる猶太人サミール・ジエー・ローゼマンである。

大藏大臣ヘンリイ・モルゲンソウは駐土米大使たりし猶太人ヘンリイ・モルゲンソウの子にして國際銀行家ワーブルグ家とは密接な關係を持ち、國際政治の基調をなす英佛其他との貨幣協定は實にモルゲンソウが主唱者である。駐土大使たりしモルゲンソウの父は獨逸生れである。

大審院判事猶太人エル・デイー・ブランデイスも大統領の私的顧問となつてゐる。彼と夫人は共にアーカンザス州のミナ聯邦大學の出資者である。此の大學は共產的傾向を以て知られてゐる。ブランデイスは全世界の猶太人を支配するシオン賢人會の役員になつてゐる。

ブランデイスの娘、スザンヌは紐育州の教育會の會員であり、紐育の共產黨の集會のあるユニ

オン・スクエアでも有名である。彼女は此處で數回の演説を試みた。

ルーズベルトの其他的取巻きを次に列舉しやう。(全部猶太人)

ベンジヤミン・エヌ・カードソオ

大審院判事、自由公認議員

レーモンド・モーレー教授

嘗てはルーズベルトの氣に入り顧問、現在公職より退き雑誌「今日」を發刊、反猶的獨逸政府攻撃に從事。

ハーバート・フアイス

フランクフルター教授の子分、米國國務省内の重要人物。

レツクス・ジー・タツグウエル

コロンビア大學教授、マルクス主義者、農務省書記、A・A・A(農業修正案)の創案者、ソ聯の讃美者。

ジエロム・フランク

R・F・C(財政再建委員會)の委員。

モルデカイ・エゼキエル

農相の經濟顧問、前記A・A・A(農業修正案)の共力者。

エドワード・エー・フィリーン

大統領私的顧問、米蘇商業會議所員。

マリナー・エス・エクルス

F・R・B(聯邦準備銀行)頭取

イ・エー・ゴルデンワイザー

ロシア生れ、聯邦準備銀行支配人。

デヴィッド・イー・リリーンタル

ブランデスの子分、官營モーター電力工場テネセー・ヴレー・オーソリティ支配人。

バジル・マシリイ

聯邦電力の社長代理、モルデカイ（マルクス）園ガーランドの会員。

ジョール・デヴィッド・ウォルフソン

國立電力政策委員會書記長

フランセス・バークィンス娘（事實は某氏夫人）

労働大臣、特に獨乙より追放された猶太人の就職事務を管理。バークィンス娘自身は猶太系たる事を極力否定しをるも、或時猶太系たるを肯定しエホバに忠實なる事を力説した事がある。

エー・ジー・アルテンマイヤー

労働大臣代理。

フランシス・ジャーコウイチ

労働大臣代理。

シー・イー・ワイザンスキイ（若）

フランクフルターの子分、労働省附辯護士。

ウイリアム・シー・バリツト

元駐蘇米大使、現に駐佛米大使、大統領顧問、米國の蘇聯承認の蔭に活躍した人物。國際猶太金權委任者として歐洲中を大手を振つて歩ける人物。

ジエツス・ジー・ストラウス

駐佛米大使（最近死沒）

ローレンス・ステーンハート

駐スウェーデン大使、大統領顧問。

ロバート・フェッツチナー

シドニイ・ヒルマン

市民豫備軍（C.C.C.）隊長

リトニア生れ、N.R.A の會員。

ニュートン・ティー・ベーカー

大統領の私的顧問

デエラード・スウォーブ

工業問題に對する大統領私的顧問。

レオ・ウォルマン教授

労働争議調停委員長、モルデカイ（マルクス）園ガーランド會長。

エーチ・エフ・グゲンハイム

國立航空委員會委員。

ハロルド・エス・イツクス

内務省秘書官、「米國市民自由權同盟」の獎勵者にして共產黨員として有名。ロイド・エヌ・ランドウ

フランクフルターの子分、土木省事務長、元同省首席辯護士。

ヘンリー・ティ・ハント

元シンシナチの市長、マルキストとして有名。一九二七年に死刑を宣告された猶太共產黨員サッコーとヴァンゼツチの辯護人の一人。土木省の現在の首席辯護人。

サミュル・ウンターマイヤー

大統領私的顧問、獨乙商品排斥運動首領、シオン賢人會の會員として有名。

エー・エー・バール

若い此の政治家はブランデイスの子分として大統領の私的顧問を勤めてゐる。「猶太國」の著者である。

ジヨゼフ・ビー・イーストマン

同じくブランデスの子分にして、鐵道布設調整者。

ステフエン・ロースヘンブツシユ

軍需品委員會検査員、マルキスト傾向の辯護士。

ルイ・ティー・カーステイン

相談役の一人。

ウイリアム・エム・ライザーソン

ロシア出身、國立勞動委員會秘書。

ローズ・シユナイダーマン女史

ロシア出身、同じく國立勞動委員會書記、共產黨のシンバ。

エス・エー・ローゼンブラット

N·R·Aの會員。

イジダー・ルービン

紐育市勞動局統計課長。

ナザン・マーゴルド

フランクフルターの子分、内務省附辯護士、「米國市民自由權同盟」の一員。

アドルフ・ジエー・サバツクス

ボヘミア出身、國會議員。

ヘルマン・ビー・コツベルマン

ロシア出身、國會議員。

ハーバト・エーチ・レーマン

紐育州知事、大統領の親友、國際的猶太金融家とも密接な關係を有つ。

アーヴィン・ステーナグツト

紐育州會の論士。

アンヌ・エム・ローゼンバーグ女史

N・R・Aの理事其他兼任。

國際政經學會ノ事業ノ梗概

一、本會ハ猶太問題ニ關スル研究調査、國內並ニ對外連絡及情報報道ヲ會員ニ行フヲ目的トス

二、本會ハ本會ノ目的ヲ達成スルタメ左ノ事業ヲ行フ

フ

イ、國內及海外ニ於ケル事情ノ研究調査

ロ、國內及海外ノ所要ノ向ト連絡

ハ、研究會、座談會等ノ開催

ニ、機關誌、圖書、冊子等ノ刊行

ホ、講演

ヘ、其他本會ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事項

三、本會ノ經理ハ會費及會員ノ醵金ヲ以テ之ニ充ツ

四、本會ニ入會スルニハ會員ノ紹介アルヲ要ス

不
許
複
製

限 定 版

昭和十二年十一月十日印刷

昭和十二年十二月十五日發行

東京市麹町區內幸町幸ビル

著作印刷
兼發行人 柳沼七郎

東京市京橋區築地四丁目四番地

印刷所 中屋三間印刷株式會社

發行所 國際政經學會

電話銀座一二一八番



